

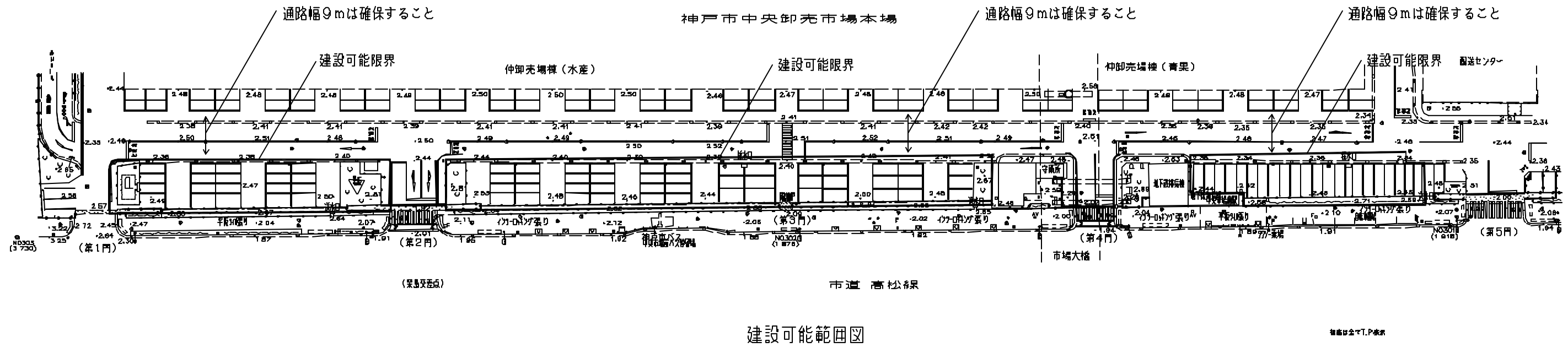
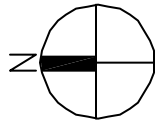
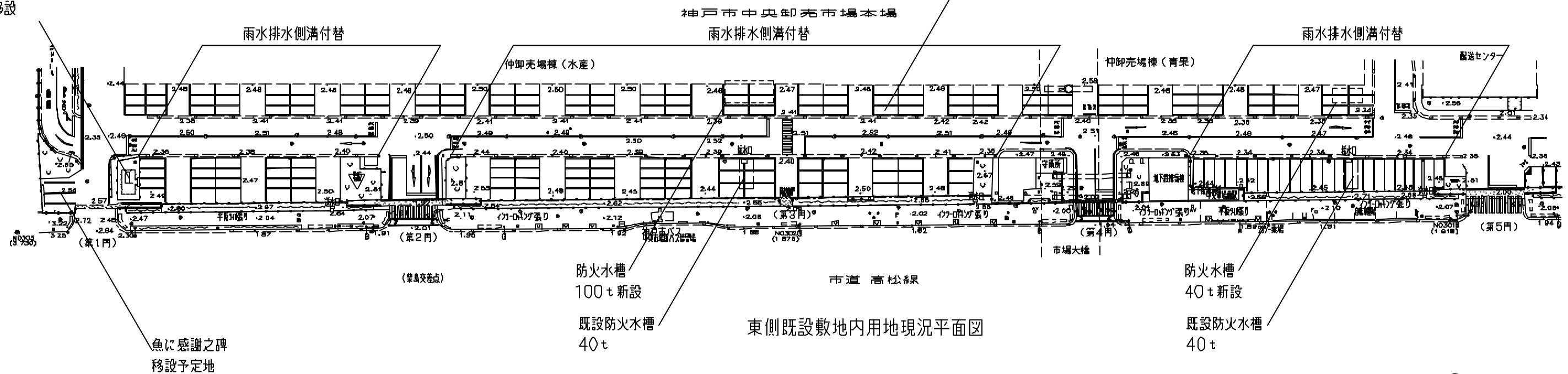
【別添資料】目次

資料番号	資料名称	備考
【別添資料 1】	現況平面図(1)	
【別添資料 1】	現況平面図(2)	
【別添資料 2】	電力整備状況<参考図>	
【別添資料 2】	給水整備状況<参考図>	
【別添資料 2】	汚水排水整備状況<参考図>	
【別添資料 2】	ガス整備状況<参考図>	
【別添資料 3】	地盤関係資料(1)-1 埋立棟計画敷地ボーリング	
【別添資料 3】	地盤関係資料(1)-2 埋立棟計画敷地ボーリング	
【別添資料 3】	地盤関係資料(1)-3 埋立棟計画敷地ボーリング	
【別添資料 3】	地盤関係資料(1)-4 埋立棟計画敷地ボーリング	
【別添資料 3】	地盤関係資料(1)-5 埋立棟計画敷地ボーリング	
【別添資料 3】	地盤関係資料(2)-1 埋立部の地下構造部の建設可能範囲	
【別添資料 3】	地盤関係資料(2)-2 埋立部の地下構造部の建設可能範囲	
【別添資料 3】	地盤関係資料(2)-3 埋立部の沈下性状について	
【別添資料 3】	地盤関係資料(3)-1 関連事業棟計画敷地ボーリング	
【別添資料 3】	地盤関係資料(3)-2 高速鉄道海岸線中之島停車場及び地下線路工事に伴う地質調査報告書	
【別添資料 3】	地盤関係資料(3)-3 高速鉄道海岸線中之島停車場及び地下線路工事に伴う地質調査報告書	
【別添資料 3】	地盤関係資料(3)-4 高速鉄道海岸線中之島停車場及び地下線路工事に伴う地質調査報告書	
【別添資料 3】	地盤関係資料(3)-5 神戸市中央卸売市場本場建設工事地質調査その1その2報告書	
【別添資料 3】	地盤関係資料(3)-6 神戸市中央卸売市場本場建設工事地質調査その1その2報告書	
【別添資料 3】	地盤関係資料(3)-7 神戸市中央卸売市場本場建設工事地質調査その1その2報告書	
【別添資料 3】	地盤関係資料(3)-8 神戸市中央卸売市場本場建設工事地質調査その1その2報告書	
【別添資料 3】	地盤関係資料(3)-9 神戸市中央卸売市場本場建設工事地質調査その1その2報告書	
【別添資料 3】	地盤関係資料(4) 地下鉄海岸線断面図	
【別添資料 3】	地盤関係資料(5) ランプウェイ基礎施工可能範囲	
【別添資料 4】	関連事業所・事務所棟 平面図(参考図)	
【別添資料 4】	埋立地棟 平面図(参考図)	
【別添資料 5】	消防設備一覧表(参考)	
【別添資料 6】	外構範囲資料	
【別添資料 7】	各エリアの要求水準	
【別添資料 8】	内装工事施工区分概念図	
【別添資料 8】	内装工事施工区分(関連事業所・事務所棟)	
【別添資料 8】	内装工事施工区分(銀行)	
【別添資料 9】	防火用水施設計画資料	
【別添資料 10】	実施設計完了時の提出図書類	
【別添資料 10】	工事着手時の提出図書類	
【別添資料 10】	建設期間中の提出図書類	
【別添資料 10】	竣工に伴う提出図書類	
【別添資料 11】	PR施設設計・建設要求水準	
【別添資料 12】	発泡スチロール減容設備要求水準	
【別添資料 13】	ダンボール圧縮機概要	

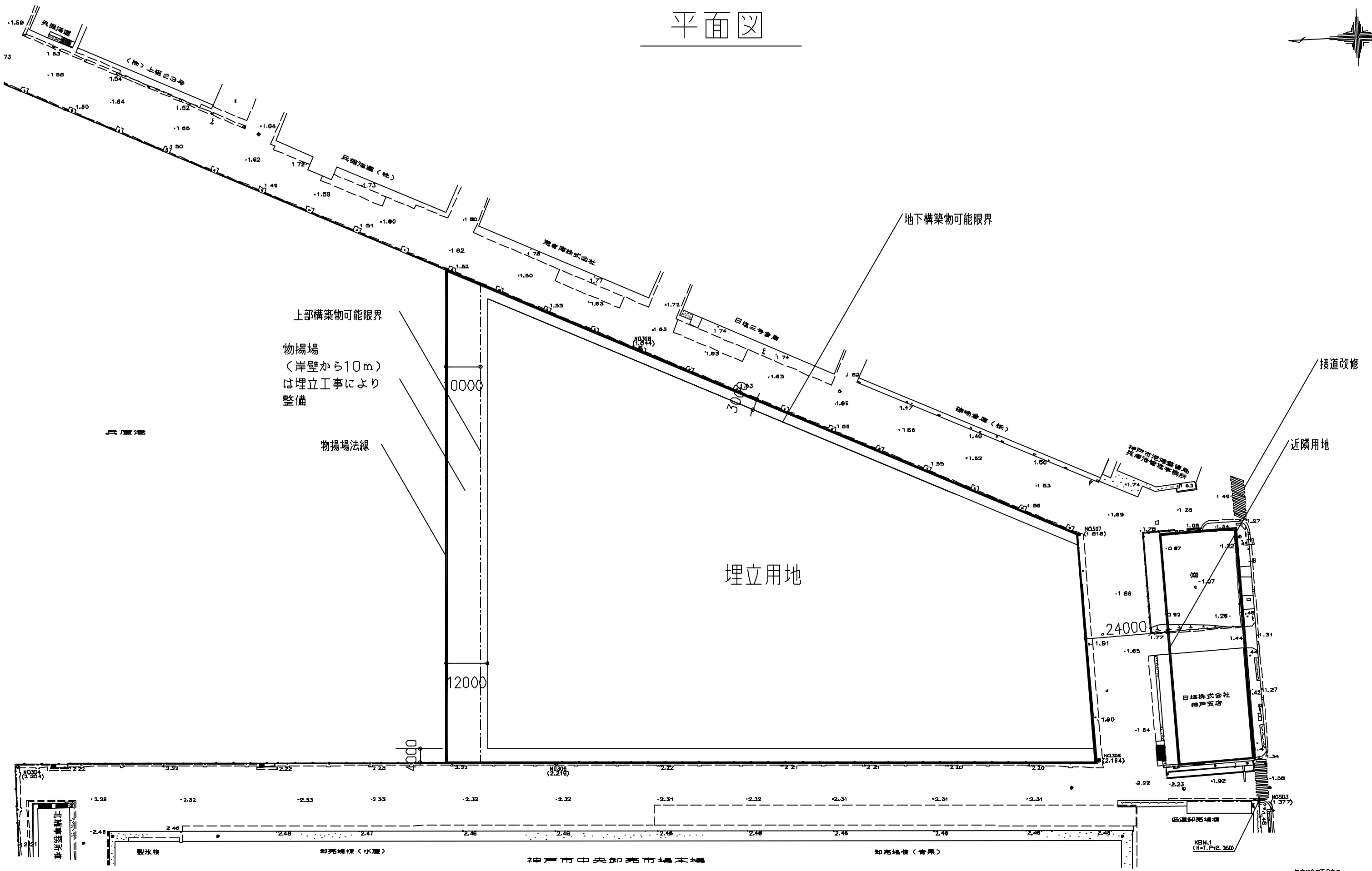
【別添資料 14】	計画対象案内図	
【別添資料 15】	移転対象施設（西側既存施設）清掃業務範囲図	
【別添資料 15】	東側既存施設清掃業務範囲図 1 階	
【別添資料 15】	東側既存施設清掃業務範囲図 2 階	
【別添資料 16】	東側既存施設植栽維持管理業務範囲図	

魚に感謝之碑
: 北側に移設

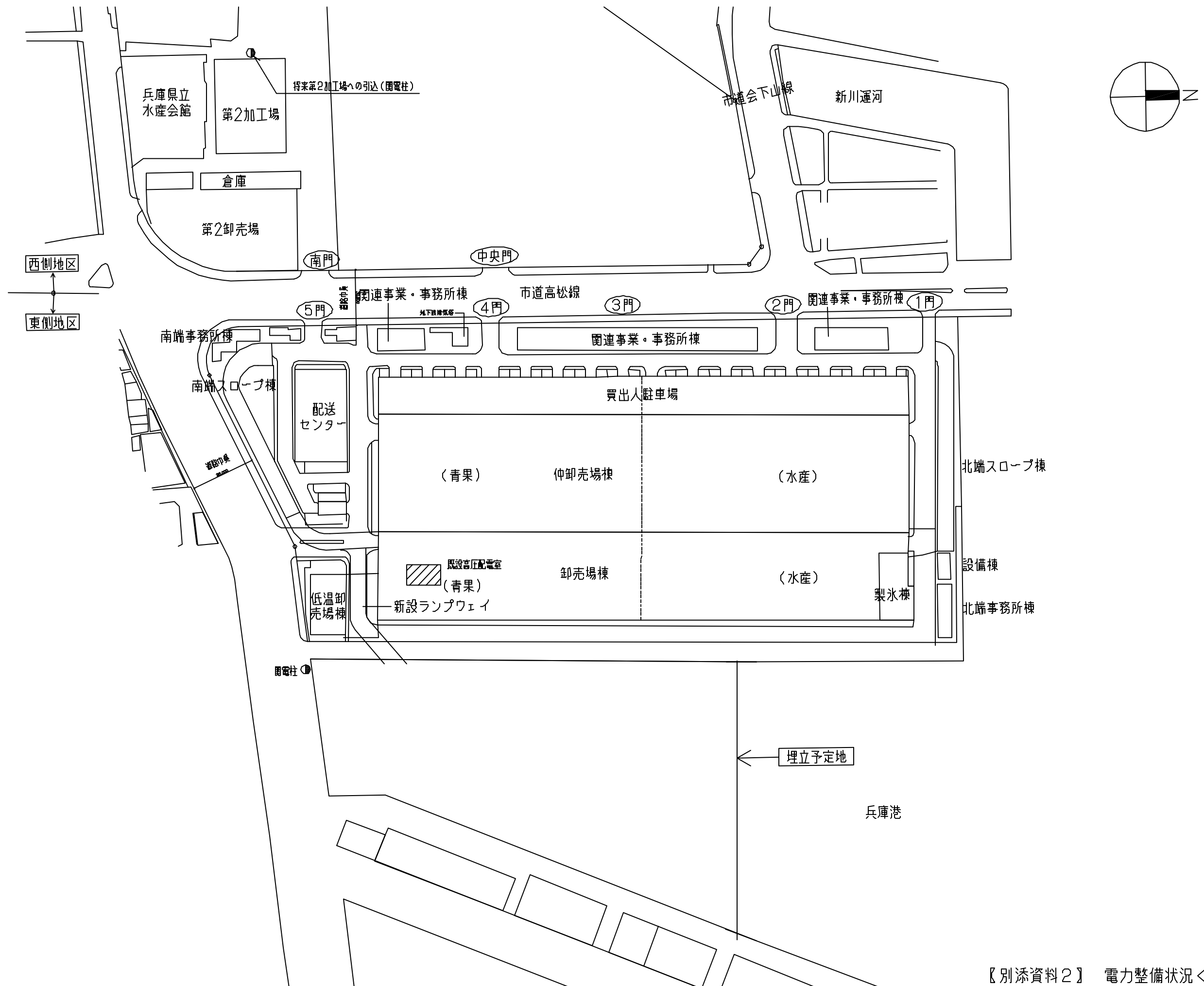
買出人駐車場(青空駐車場)は場内通路に面する1列について減らすことができます



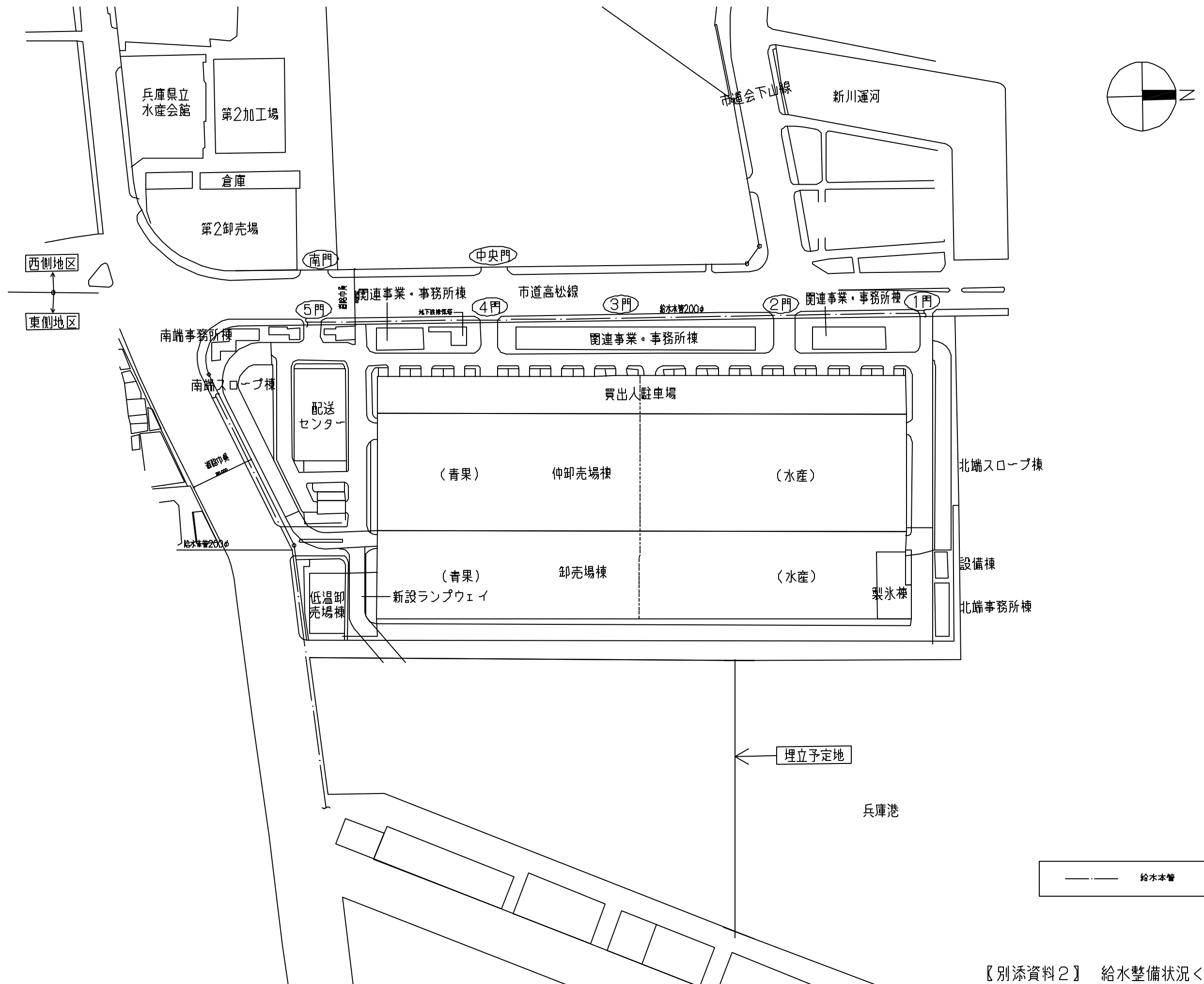
平面図



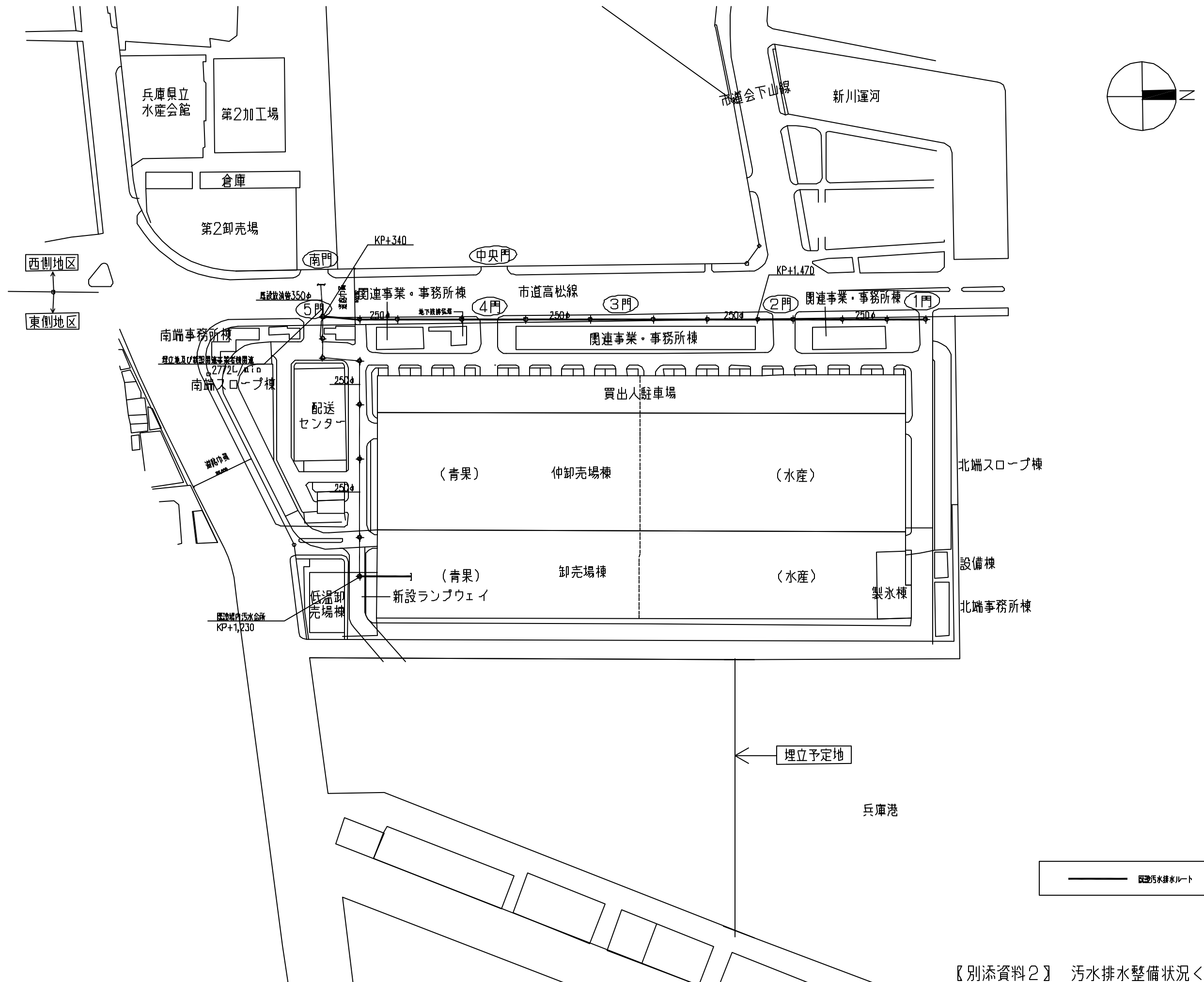
【別添資料1】 現況平面図(2) S=1:1000



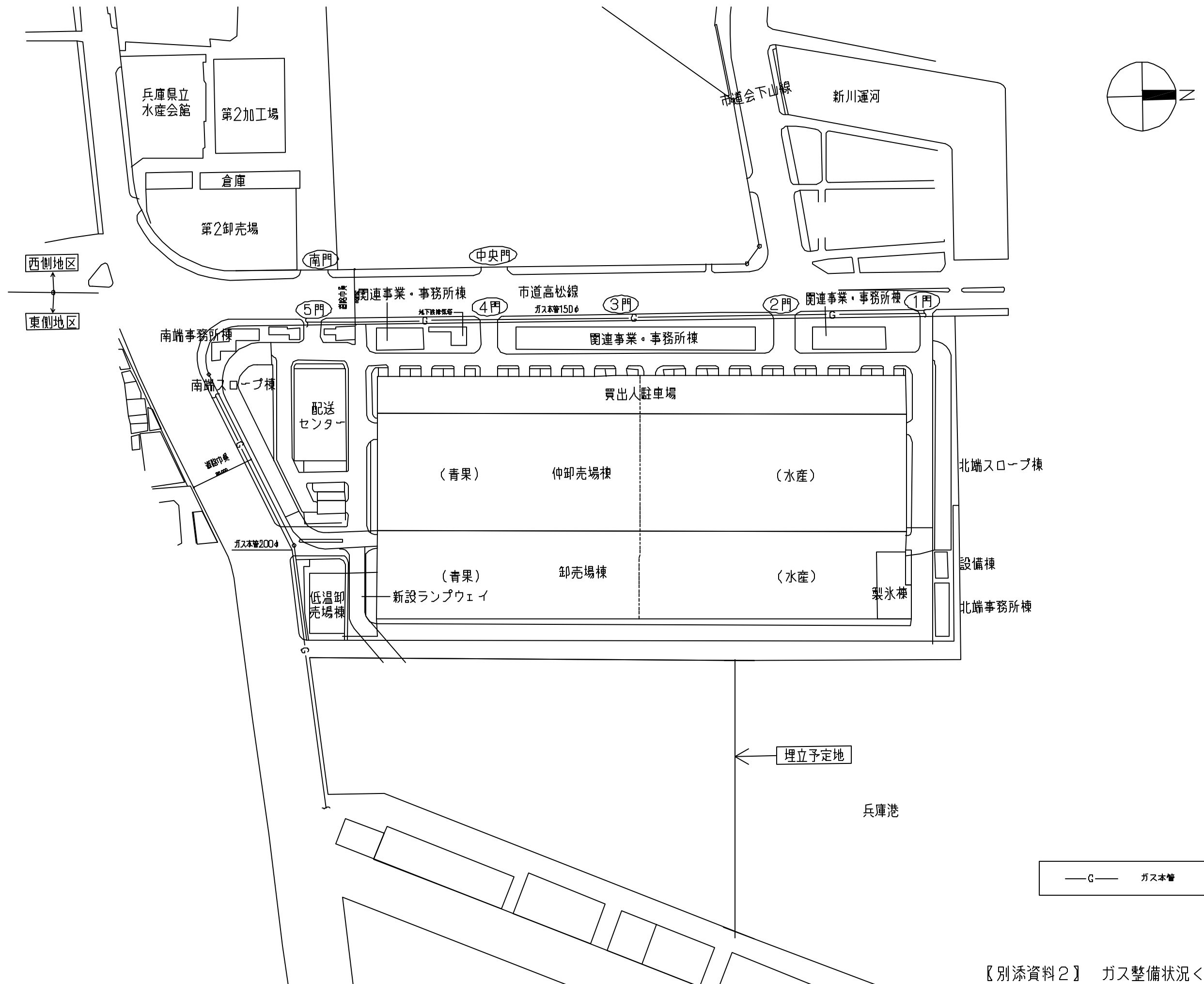
【別添資料2】 電力整備状況<参考図>



【別添資料2】 給水整備状況<参考図>



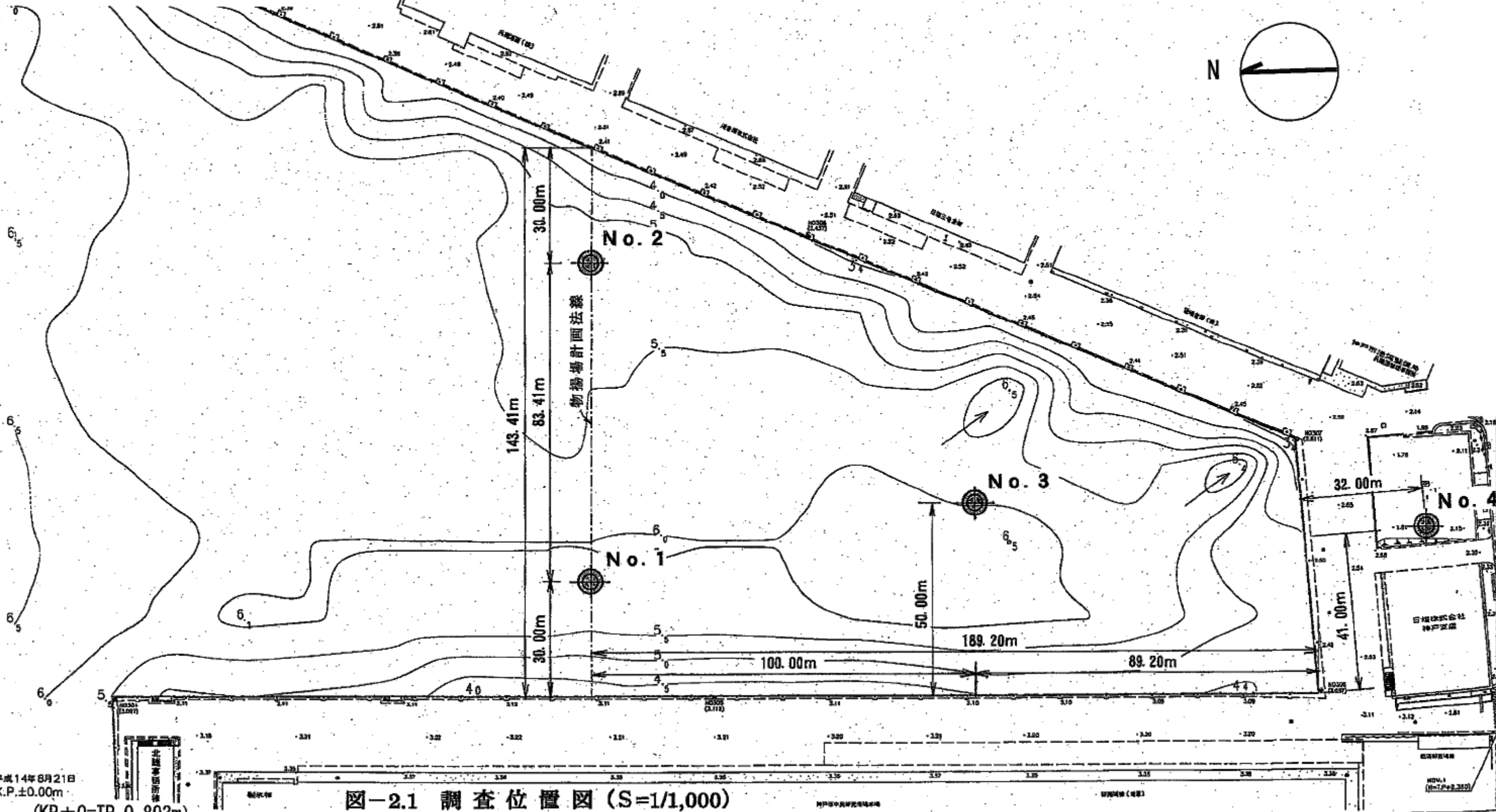
【別添資料2】 汚水排水整備状況<参考図>



【別添資料2】 ガス整備状況<参考図>

埋立棟計画敷地ボーリング位置図

神戸市中央卸売市場本場
 公有水面埋立免許申請図書作成等業務
 土質調査報告書(平成15年3月)



測量年月日:平成14年8月21日
 水深基準面:K.P.±0.00m

(KP±0=TP-0.893m)

図-2.1 調査位置図 (S=1/1,000)

【別添資料3】地盤関係資料(1)-5 埋立棟計画敷地ポーリング 柱状図

神戸市中央卸売市場本場
公有水面埋立申請図書作成等業務
土質調査報告書 No.4ポーリング柱状図
孔口標高 T P+1.067m (=K P+1.960m)

調査名 神戸市中央区卸売市場本場 公有水面埋立免許申請図書作成業務

事業・工事名

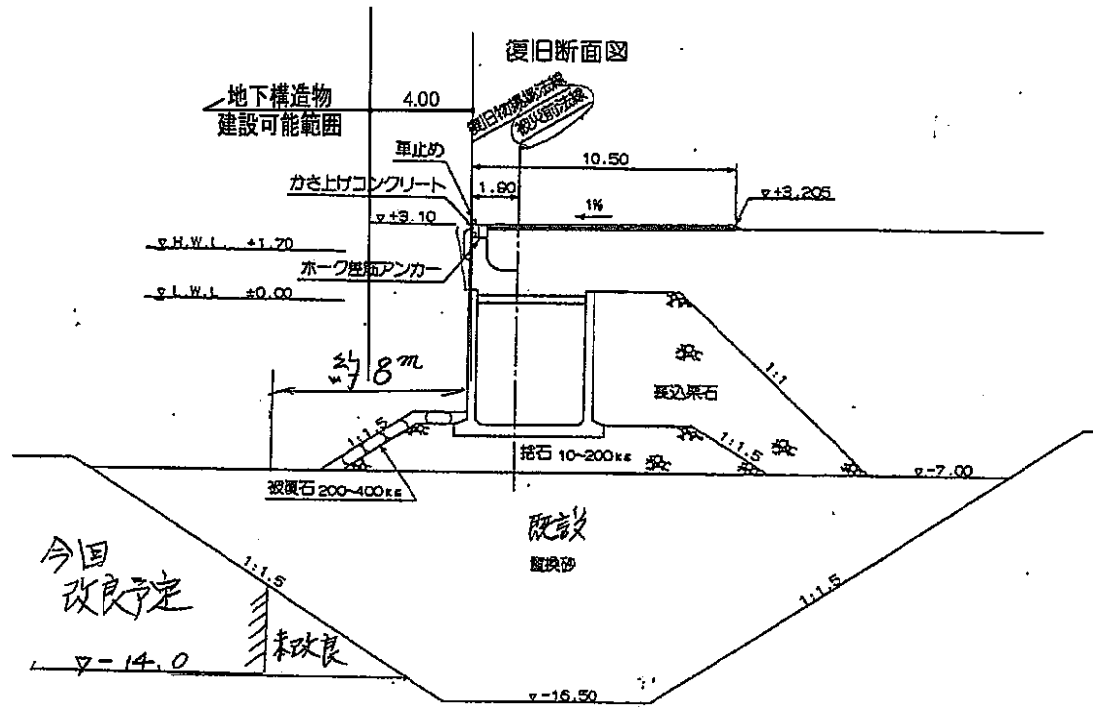
ポーリングNo. N O . 4

ポーリング名	NO.4	調査位置	神戸市中之島及築地町地先
発注機関	神戸市産業振興局中央卸売市場本場	調査期間	平成14年8月22日~14年8月24日
調査業者名	(株)日本港湾コンサルタント 関西支社 電話(078-251-6168)	現場代理人	森本 伸三
孔口標高	KP +1.96m	コア鑑定者	アア
総掘進長	24.44m	試験機	OP-1
		エンジン	NFD10-K
		ポンプ	ハンマー落下用具
		ポンプ	自動落下装置 MG-5h
		北緯	
		東経	
		ポーリング責任者	石田 平八郎

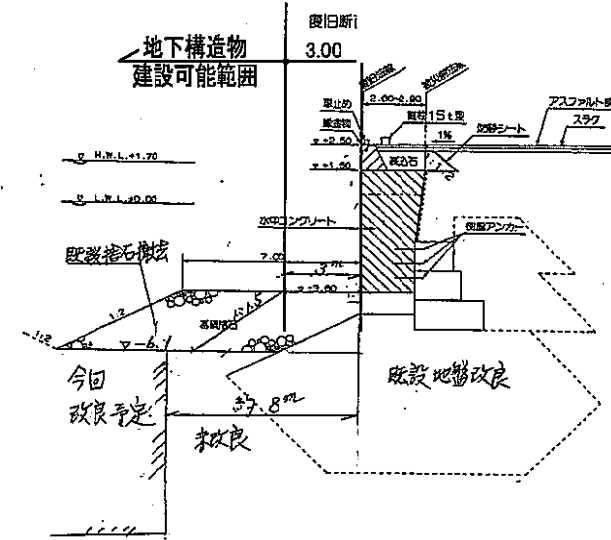
標尺	層厚	柱状図	土質区分	色	相対稠度	相対密度	記	孔内水位m / 測定月日	標準貫入試験		原位置試験		室内試験()	損進月日
									10cm毎の 打撃回数	深度 m	打撃回数 / 貫入量	N 値		
1	0.10	埋立土(砂礫)	埋立土(砂礫)	灰~茶褐色	密な	硬	0.4mまでは、径10~100mm以上の礫、コンクリート片を多く混入する。 0.4m以下は、中砂主体で、径2~50mmの礫を混入する。	8/22 0.70	1	1.15	33	P-1	0.05	8/22
2	1.80							1.15	10	1.45	30	P-2	0.40	8/22
3	1.80							2.15	3	2.45	8	P-3	-0.01	8/22
4	1.80							3.15	2	3.15	7	P-4	-0.54	8/22
5	1.80							3.45	2	3.45	7	P-5	-1.04	8/22
6	1.80							4.15	3	4.15	9	P-6	-1.54	8/22
7	1.80							4.45	2	4.45	9	P-7	-2.04	8/22
8	1.80							5.15	2	5.15	2	P-8	-2.54	8/22
9	1.80							5.45	2	5.45	2	P-9	-3.04	8/22
10	1.80							6.15	1	6.15	2	P-10	-3.54	8/22
11	1.80							6.45	1	6.45	2	T-1	-4.04	8/22
12	1.80							8.15	1	8.15	2	P-11	-4.54	8/22
13	1.80							8.45	1	8.45	2	P-12	-5.04	8/22
14	1.80							10.15	1	10.15	2	T-2	-5.54	8/22
15	1.80							10.45	1	10.45	2	P-13	-6.04	8/22
16	1.80							12.15	1	12.15	2	T-3	-6.54	8/22
17	1.80							12.45	1	12.45	2	P-14	-7.04	8/22
18	1.80							14.15	1	14.15	3	T-4	-7.54	8/22
19	1.80							14.45	1	14.45	3	P-15	-8.04	8/22
20	1.80							16.15	1	16.15	4	T-5	-8.54	8/22
21	1.80							16.45	1	16.45	4	P-16	-9.04	8/22
22	1.80							17.15	2	17.15	6	T-6	-9.54	8/22
23	1.80							17.45	2	17.45	6	P-17	-10.04	8/22
24	1.80							18.15	3	18.15	13	T-7	-10.54	8/22
25	1.80							18.45	3	18.45	13	P-18	-11.04	8/22
26	1.80							19.15	14	19.15	51	T-8	-11.54	8/22
27	1.80							19.45	14	19.45	51	P-19	-12.04	8/22
28	1.80							20.15	24	20.15	48	T-9	-12.54	8/22
29	1.80							20.45	24	20.45	48	P-20	-13.04	8/22
30	1.80							21.15	12	21.15	36	T-10	-13.54	8/22
31	1.80							21.45	12	21.45	36	P-21	-14.04	8/22
32	1.80							22.15	25	22.15	60	T-11	-14.54	8/22
33	1.80							22.45	25	22.45	60	P-22	-15.04	8/22
34	1.80							23.15	28	23.15	60	T-12	-15.54	8/22
35	1.80							23.45	28	23.45	60	P-23	-16.04	8/22
36	1.80							24.15	20	24.15	60	T-13	-16.54	8/22
37	1.80							24.45	20	24.45	60	P-24	-17.04	8/22

埋立部の地下構造部の
建設可能範囲①

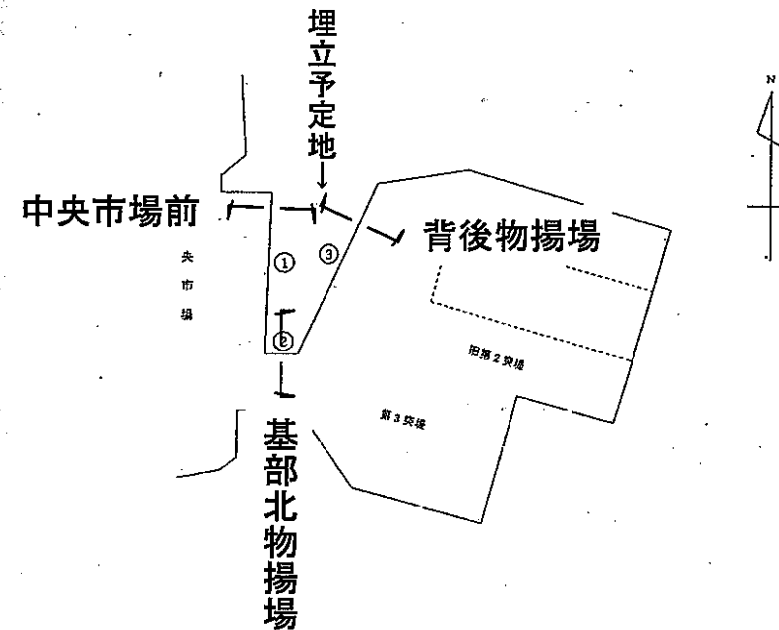
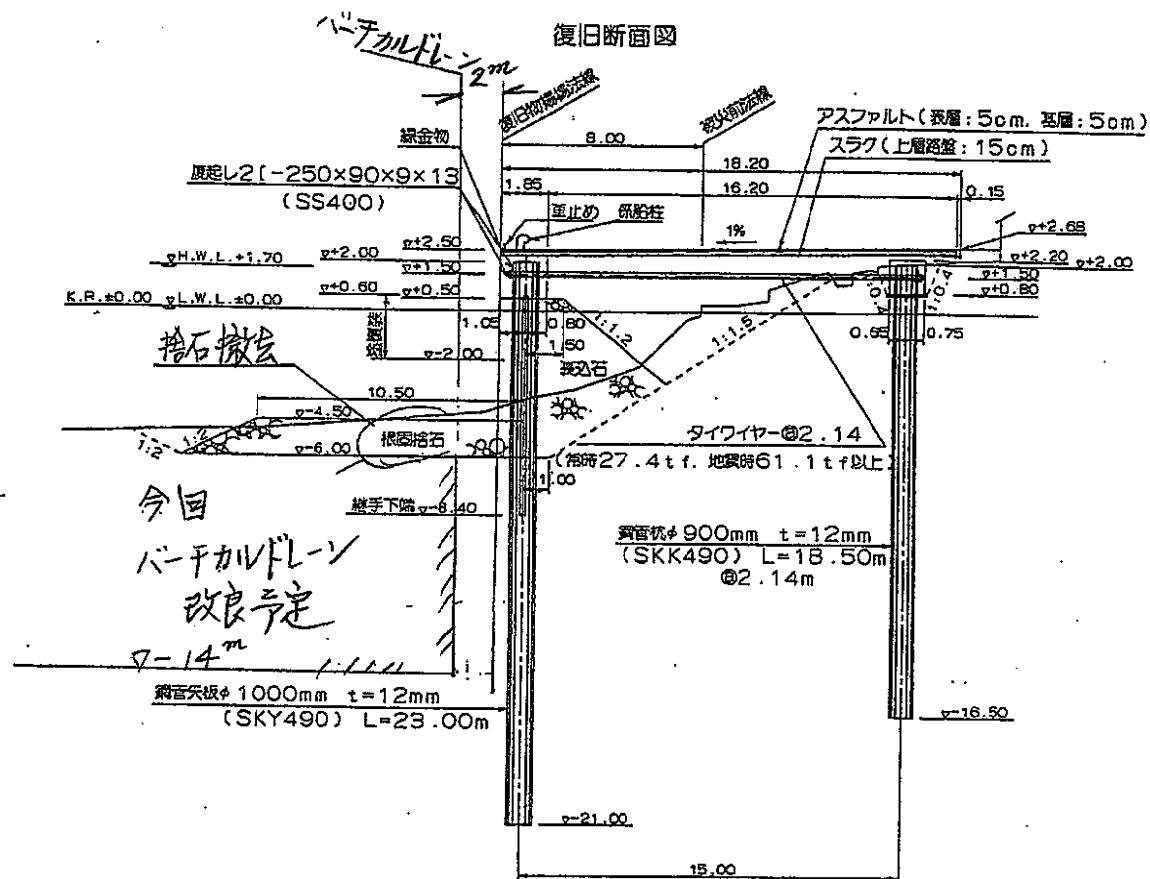
中央市場前断面 S=1:300



背後物揚場断面 S=1:300



基部北物揚場断面 S=1:300



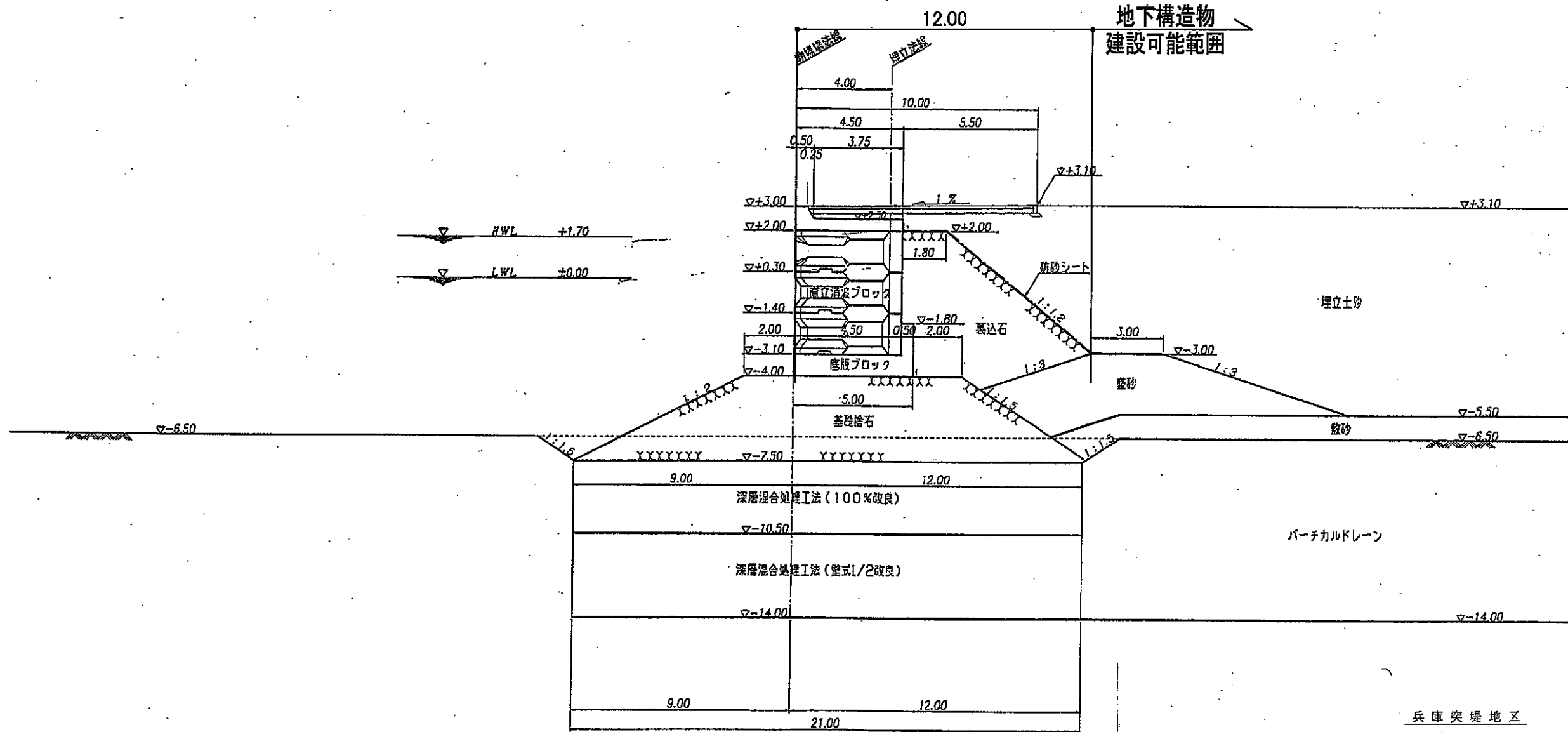
図中の H.W.L.は朔望平均満潮位を示す。
又、L.W.L.は朔望平均干潮位を示す。

【別添資料3】地盤関係資料(2)-1 埋立部の地下構造部の建設可能範囲①

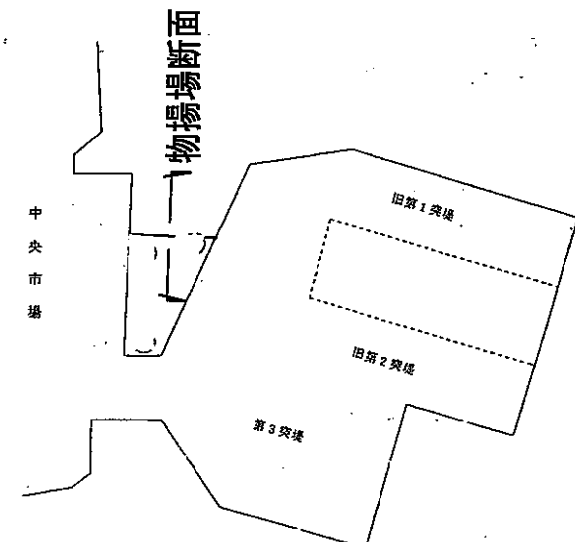
埋立部の地下構造部の
建設可能範囲②

埋立部北側の新設の物揚場付近の地下部の建設可能範囲

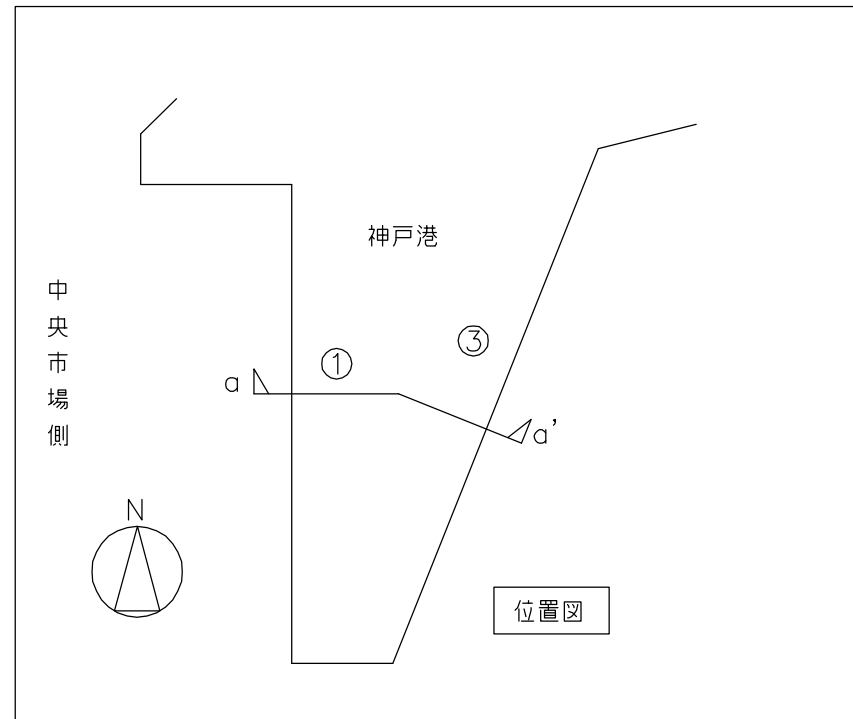
埋立部北側
新設の物揚場断面 S=1:200



図中の H.W.L. は朔望平均満潮位を示す。
又、L.W.L. は朔望平均干潮位を示す。



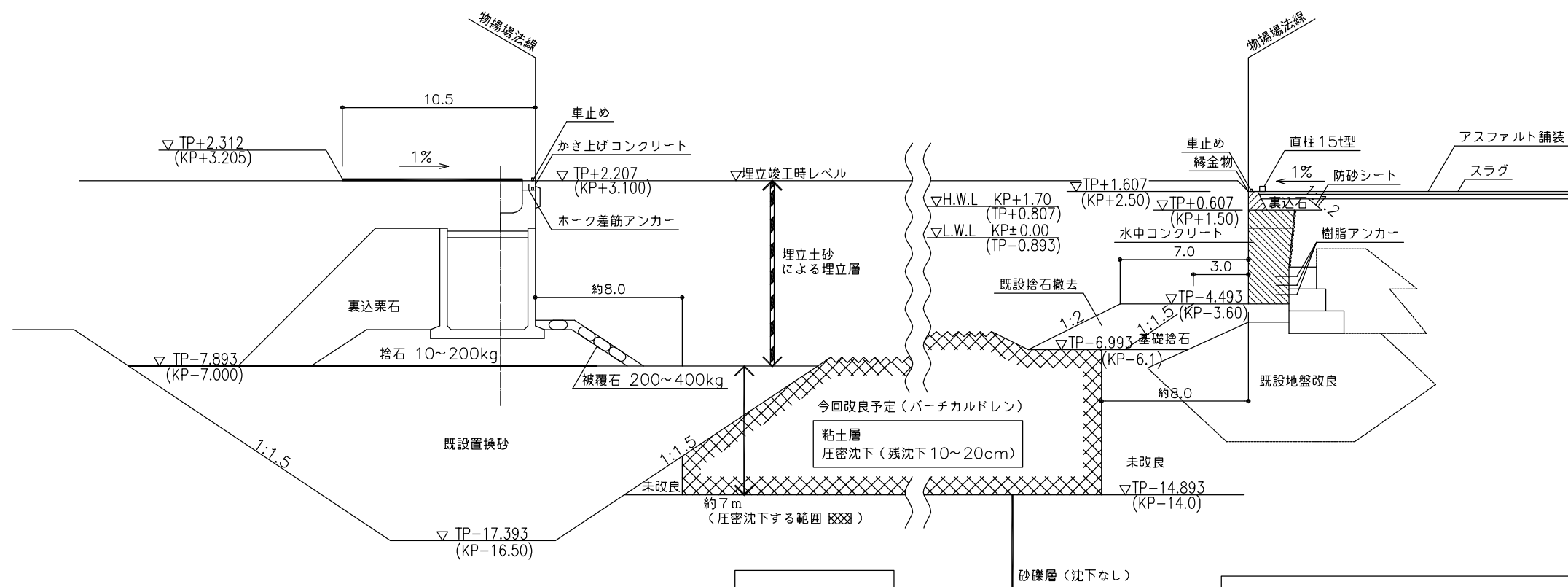
【別添資料3】地盤関係資料(2)-2 埋立部の地下構造部の建設可能範囲②



① 中央市場側

③ 背後物揚場

復旧断面図



a-a'断面図

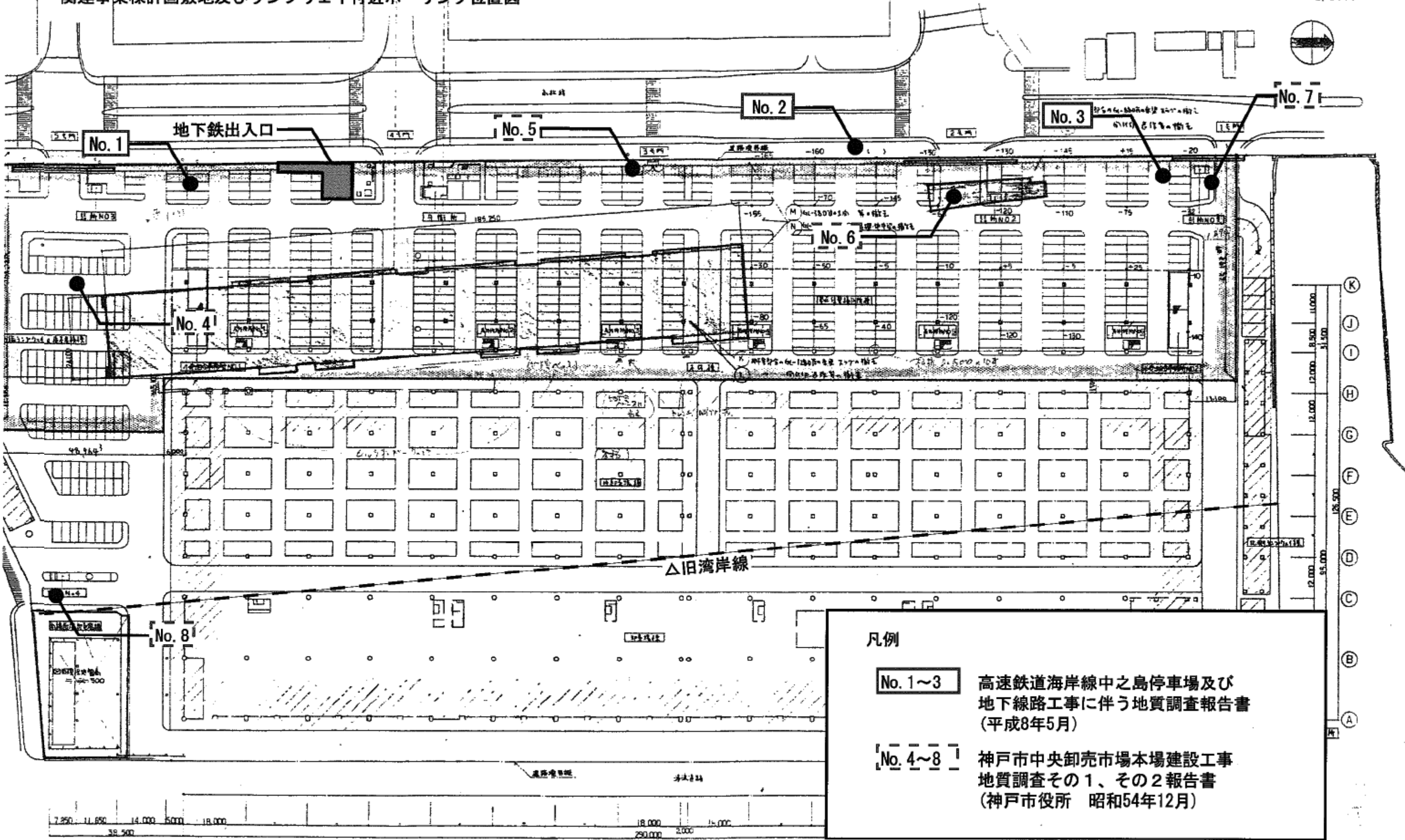
特記無き寸法単位はm

図中の H.W.L.は朔望平均満潮位を示す。
又、L.W.L.は朔望平均干潮位を示す。

残沈下の測定について

- ・ 残沈下の基準は埋立竣工後からのレベルとする。
- ・ 卸売場棟 東側の適切な不動点を測定基準点として定め、残沈下の測定を行うこと。

【別添資料3】 地盤関係資料(2)-3 埋立部の沈下性状について



- 凡例
- No. 1~3** 高速鉄道海岸線中之島停車場及び地下線路工事に伴う地質調査報告書 (平成8年5月)
 - No. 4~8** 神戸市中央卸売市場本場建設工事地質調査その1、その2報告書 (神戸市役所 昭和54年12月)

【別添資料3】地盤関係資料(3)-3

No.2 高速鉄道海岸線中之島停車場及び
地下線路工事に伴う地質調査報告書
(ボーリング番号 No.25)

柱状図 (No.25)

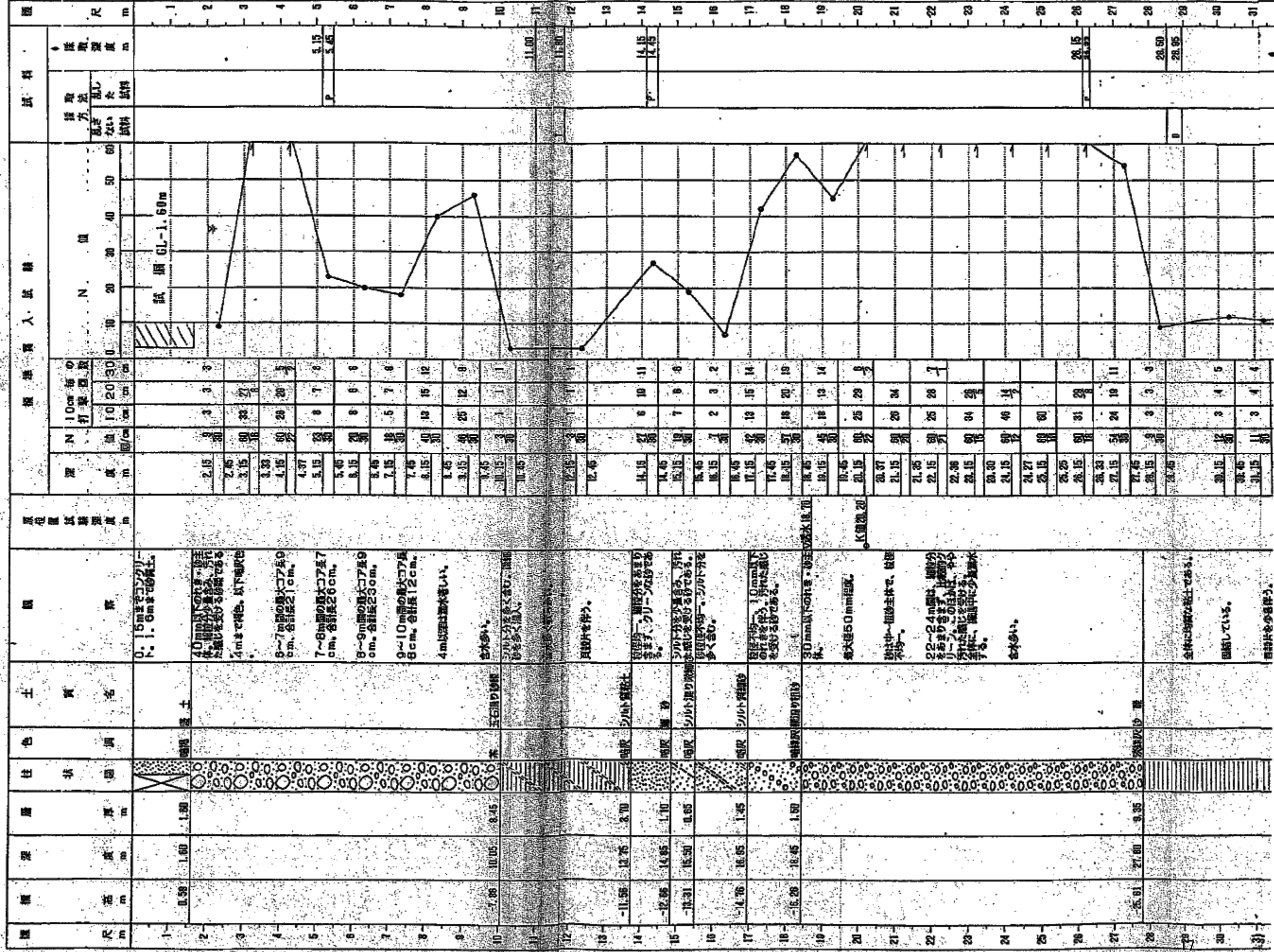
調査地 神戸市兵庫区中之島1丁目

調査年月日 平成6年6月30日～6年7月8日

標高 TP 2.19 m

孔内水位 GL-2.15 m (無水層水位)

技術者 柳下昌造



【別添資料3】地盤関係資料(3)-5
 No. 4 神戸市中央卸売市場本場建設工事
 地質調査その1、その2報告書
 (ボーリング番号 No. 1)

調査年月日 昭和54年10月16日 調査員 山本 浩一 調査員 山本 浩一
 自然孔内水位 1.70m (基準面) 目測定
 2. 試験採取深度と回取比 45/50は回取比

標尺	高度	深度	層厚	柱状図記号	地質名	色調	観 察	相対密度	相対稠度	標本資料 No.	採取記号	採取深度	標準貫入試験		
													N 値	10cm毎の打撃回数	
0															
1							上部30cmはコンクリート 以下は砂質土						12	4	4
2					埋	工	暗褐色 砂質土						10	4	3
3							砂質土						6	3	2
4							砂質土						9	3	3
5							砂質土						10	4	3
6		5.80	5.80				砂質土						12	4	4
7					細		砂質土						15	5	6
8							砂質土						12	4	4
9							砂質土						11	4	4
10		2.20	3.50				砂質土						3	1	1
11							砂質土						3	1	1
12							砂質土						3	1	1
13							砂質土						3	1	1
14		14.60	4.90				砂質土						3	1	1
15							砂質土						4	1	2
16					細		砂質土						8	2	2
17							砂質土						10	4	3
18		17.70	2.10				シルト混じり砂質土						8	2	3
19							シルト混じり砂質土						9	2	3
20		19.90	2.20				シルト混じり砂質土						29	11	16
21							砂質土						46	14	17
22		22.50	2.60				砂質土						54	14	17
23							砂質土						60	15	15
24							砂質土						60	15	15
25							砂質土						60	15	15
26							砂質土						60	15	15
27							砂質土						60	15	15
28							砂質土						60	15	15
29		29.90	2.90				砂質土						51	15	15
30		30.50	0.60				砂質土						11	4	4

【別添資料3】地盤関係資料(3)-6

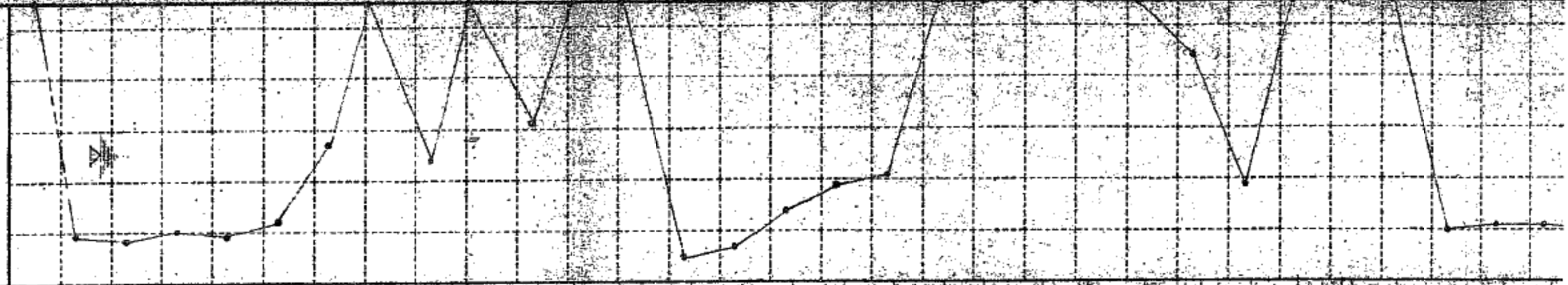
「No. 5」
神戸市中央卸売市場本場建設工事
地質調査その1、その2報告書
(ボーリング番号 No. 4)

調査年月日 昭和54年10月20日～10月26日 調査員 三谷豊幸
自然孔内水位 50cm (基準面)

日測定

4.00
4.50
45/50は回取比

標高 m	深度 m	柱状図記号	地質名	色調	観察	相対密度	相対稠度	標本資料No.	試験採取記号	試験採取深度m	標準貫入試験	
											N値 回/30cm	10cm毎の 打撃回数 10 20 30 cm
0	0		盛土	灰白	コンクリート砂利層 存在						60	
1	0.50										9	1 5 3
2					φ2-5mmの細礫土 と粗礫土の混在						8	2 4 2
3											10	3 3 4
4				茶							9	3 3 3
5					下部に存在						17	4 3 5
6											27	6 12 9
7	7.00										60	
8					在南方面の礫石層 に連続して存在する V区に属する						24	7 11 6
9											60	
10			砂	灰白							31	15 9 7
11					新有の土砂に 属する						60	
12	12.50										60	
13				茶褐色	粗粒土と細粒混 入層						5	1 2 2
14	13.50										7	2 2 3
15				灰	φ2-20mmの重質礫混 入粗粒土である						14	4 5 5
16											19	6 6 7
17											21	6 7 8
18											60	13 22 25
19											60	
20					φ20-1970mmの重石 が存在						60	20 30 33
21					φ2-20mmの重質礫土 と粗粒土の混在 中に木屑類、土砂 が存在						60	20 30 33
22				灰							60	20 30 35
23					細粒土と重質礫 の混在						44	16 23 25
24											19	6 5 8
25											60	20 30 34
26											60	19 28 31
27											60	20 30 36
28											10	3 3 4
29					細粒土と重質礫 の混在						11	3 4 4
30											11	3 4 4



【別添資料3】地盤関係資料(3)-7
 No. 6 神戸市中央卸売市場本場建設工事
 地質調査その1、その2報告書
 (ボーリング番号 No.5)

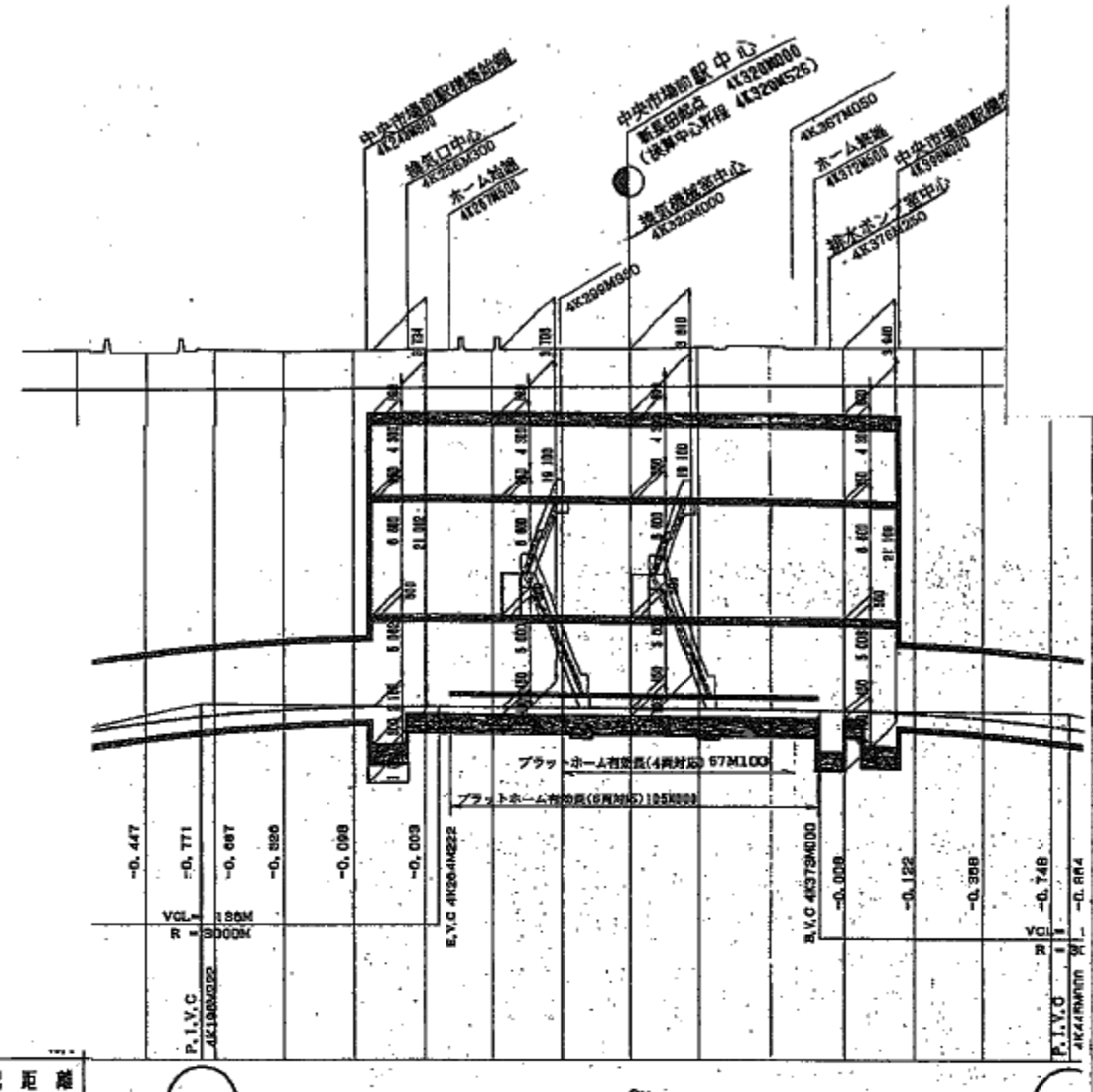
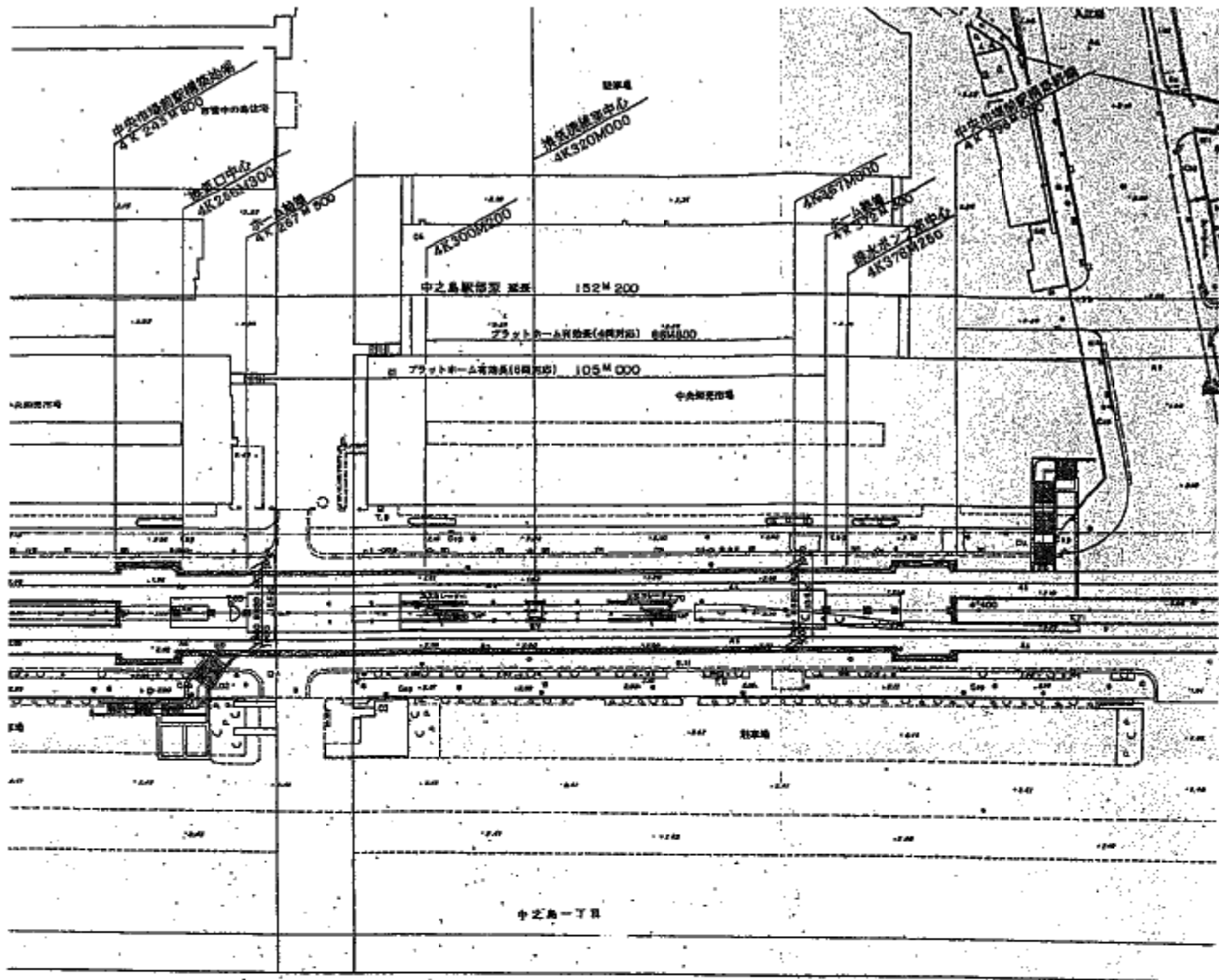
調査場所 神戸市兵庫区中之島1丁目 自然孔内水位 61.80m (基準面) 月 日 測定
 調査年月日 昭和41年10月27日~10月30日 調査員 三谷豊彦
 1. 試料採取深度と回数比 45/50は回収比
 2. 試料採取深度と回収比 45/50は回収比
 4.00
 4.80

標尺	標高	深度	層厚	柱状図記号	地質名	色調	観察	相対密度	相対稠度	標本資料No.	試料		標準貫入試験		
											採取記号	採取深度	深度	N値	10m毎の打撃回数
0		0.50	0.50	コンクリート	灰白										
1							φ2~20mmの逆円筒状の 主に粗砂が混入する。					11	26	3	
2							上部有機物混入する。					11	33	5	
3												6	22	2	
4					礫	茶褐						14	35	6	
5												18	57	6	
6												16	46	6	
7							下部玉石不規則に介在する。					18	76	5	
8												31	91	9	
9		2.00	0.50									26	22	8	
10					礫	茶	花崗岩質の礫石が混入する。					60	2		
11												60	1		
12						灰	有機物混入する					6	13	2	
13												7	22	2	
14												16	65	5	
15						灰	細~中粒の玉石と 植物が混入する。					14	54	5	
16						灰	シルト混じりの 粘土が混入する。					10	33	4	
17												17	46	7	
18												40	11	13	
19												38	13	10	15
20												30	9	9	12
21												42	10	18	14
22												60	25	17	10
23												60	24	16	6
24												60	15	32	5
25												60	10		
26												60	15	26	8
27												60	28	22	20
28		2.50	0.80		粘土混じり砂	暗褐						23	10	8	5
29		2.80	0.90									16	5	5	6
30		3.00	0.10									15	5	5	5

【別添資料3】地盤関係資料(3)-8
 No. 7
 神戸市中央卸売市場本場建設工事
 地質調査その1、その2報告書
 (ボーリング番号 No. 6)

調査場所 神戸市兵庫区中之島1丁目 調査年月日 昭和54年10月27日(～)11月30日 調査員 柴 好
 標高 6.48 (基準面) 自然孔内水位 0.250m (日測定) 月 日 測定
 1. テンソンサンダーによる採取
 2. スタールサンダーによる採取
 3. 納料採取深度と回収比
 4.00
 45/50
 4.50
 45/50は回収比

標尺	高度	深度	層厚	柱状図記号	地質名	色調	観 察	相対密度	相対稠度	標本資料 No.	試料採取記号	採取深度	標準貫入試験			
													深度	N 値	10mm毎の打撃回数	
m	m	m	m								m	m	回/30m	回/30cm	回/30cm	
27.0													0	1		
1							土 茶 褐						1	3	1	1
2													2	3	1	1
3													3	7	3	2
4													4	5	2	1
5													5	6	2	2
6													6	60%		
7													7	12	6	3
8													8	14	5	3
9													9	60%		
10													10	60%		
11	27.50	10.50											11	3	1	1
12													12	4	1	2
13													13	4	1	2
14													14	21	6	7
15													15	23	7	8
16													16	22	7	7
17													17	51	19	15
18													18	6	3	1
19													19	60	17	20
20													20	60	27	19
21													21	60	15	20
22													22	60	22	18
23													23	60	20	23
24													24	60	15	26
25													25	60	12	15
26													26	60	17	25
27													27	60	15	27
28													28	9	3	3
29													29	11	3	4
30													30	13	4	4



4K267M500
市道松原線

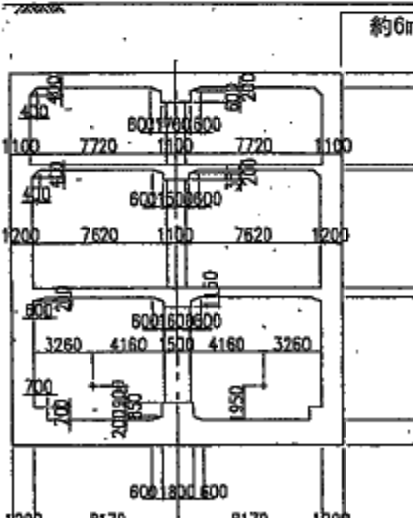
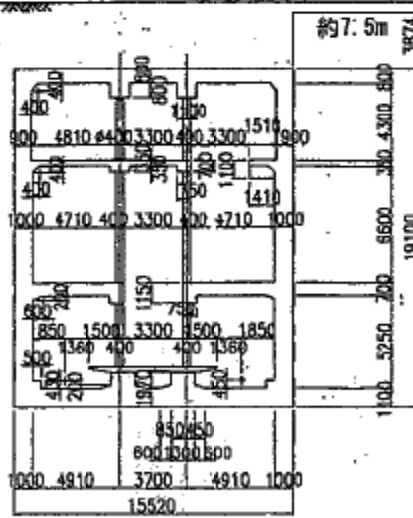
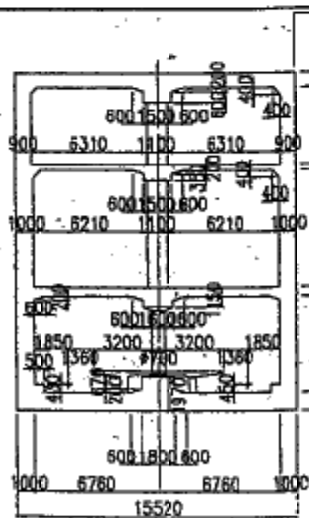
敷地
境界線

4K327M500
市道松原線

敷地
境界線

4K385M000
市道松原線

敷地
境界線



関連事業所
事務所棟
建設可能範囲

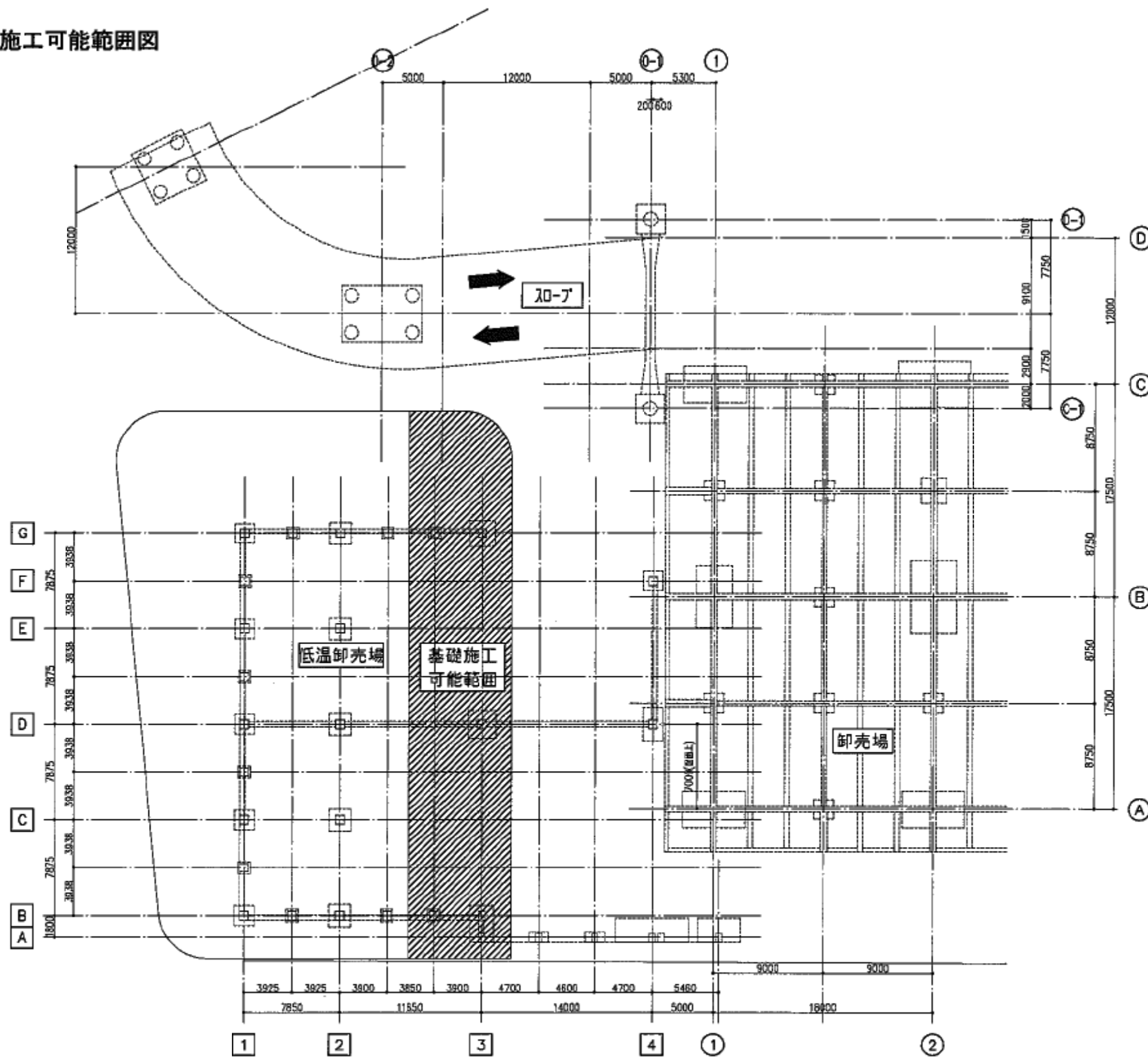
関連事業所
事務所棟
建設可能範囲

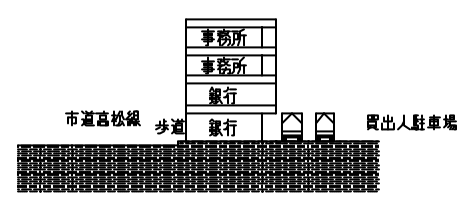
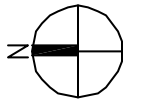
関連事業所
事務所棟
建設可能範囲

勾配距離 敷地面交点高	1B. 002	1P. A
地盤高 T(地高)	2.22	2.36
敷地面高	-0.447	-0.087
構築面高	-21.120	-20.676
構築面高	-15.626	-15.376
土 被	18.046	17.796
埋込入深	-	-
線路中心線	-	-
標 記	160M	200M
構築型式	160M	200M

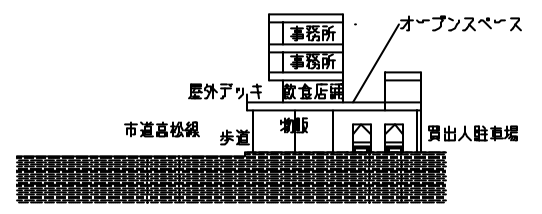
【別添資料3】地盤関係資料(4)地下鉄海岸線断面図

ランプウェイ基礎施工可能範囲図
(南端低温倉庫棟)

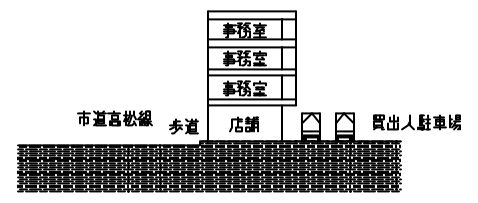




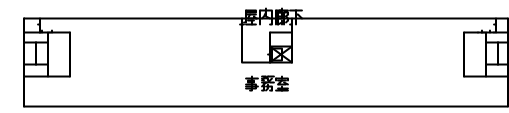
北棟 断面図



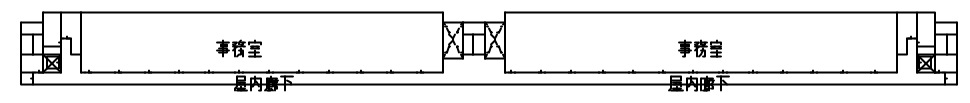
中央棟 断面図



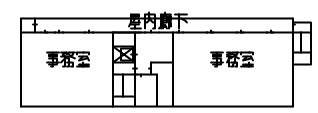
南棟 断面図



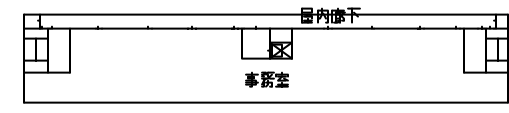
北棟 4F 事務所



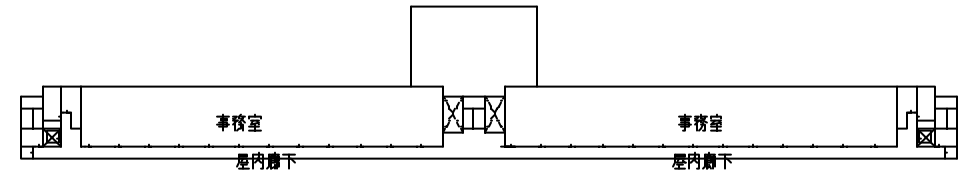
中央棟 4F 事務所



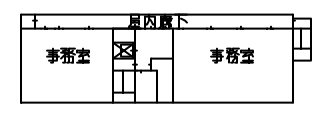
南棟 4F 事務所



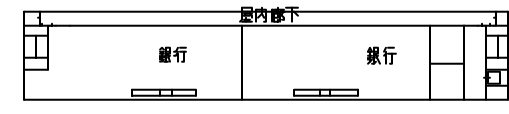
北棟 3F 事務所



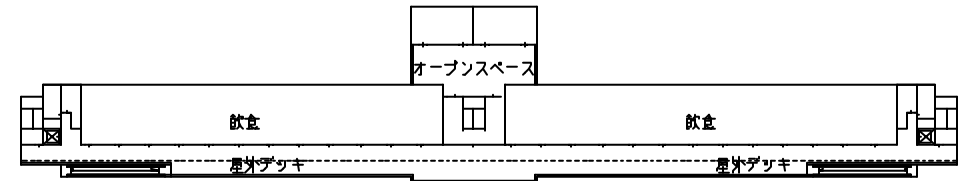
中央棟 3F 事務所



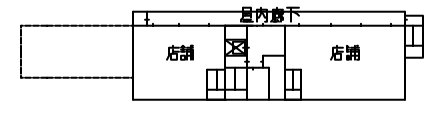
南棟 3F 事務所



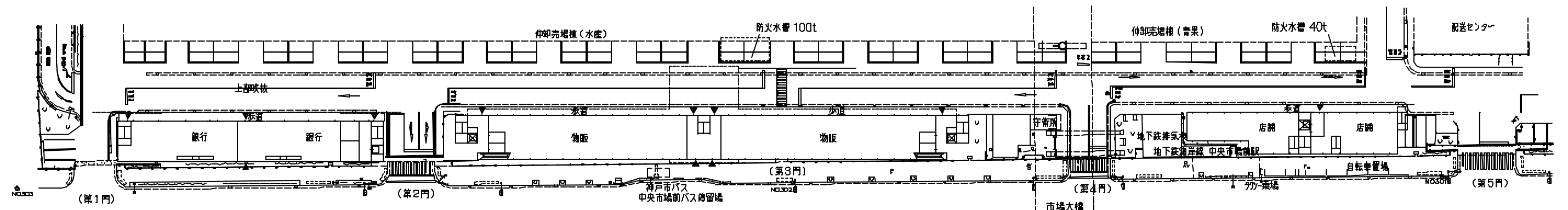
北棟 2F 銀行



中央棟 2F 飲食



南棟 2F 店舗



北棟 1F 銀行

中央棟 1F 物販店舗等

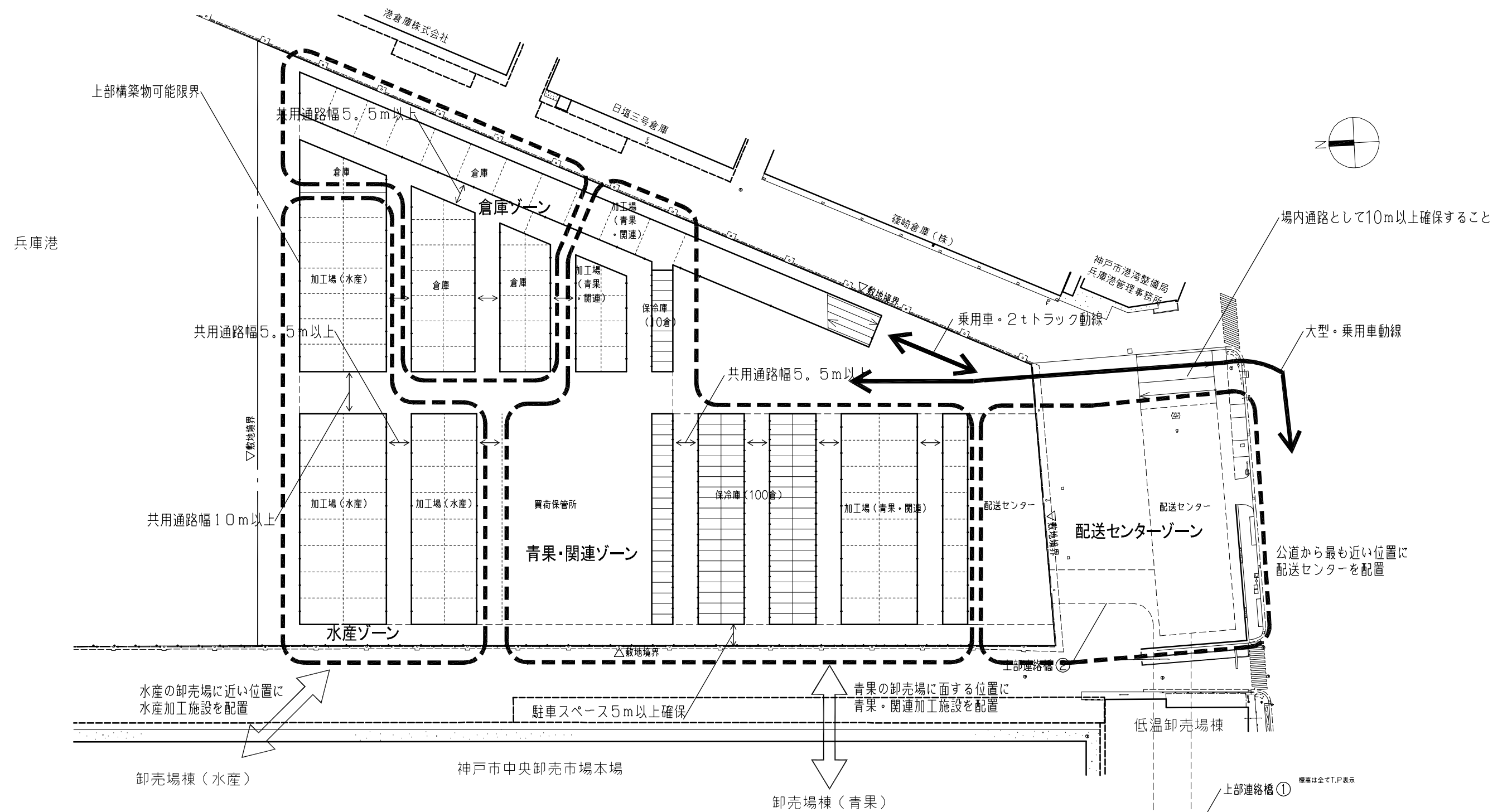
南棟 1F 店舗

市道 高松線

※基本的なレイアウトは関係業者に提出済み。



【別添資料4】 関連事業所・事務所棟 平面図(参考図)



1階 平面図

※2階以上は駐車場とする。台数は配送センター棟と埋立地棟合わせて1100台以上確保すること。
 ※階段・EVは提案による。
 ※特記なき限り共用通路幅は5.5m以上とする。

【別添資料4】 埋立地棟 平面図（参考図）

【別添資料7】各エリアの要求水準 凡例

< 表記内容の説明 >

(a)一般事項

- ・階：表記の階に設置する。但し、室の機能上問題がなく、かつ、ゾーニングの中で関連する部屋の関係上問題が無ければ、変更は構わない。
- ・面積：表記の数値(但し、室・区画の機能上問題が無ければ、5%の面積増減までは可能とする。)
- ・室数：表記室数・区画数を確保する。
- ・天井高：表記数値は室内の平均天井高を(最低限度)を示し、上がり天井等の工夫により部分的に表記数値を下回っても良い。但し、必要設備・備品の配置を妨げない計画とする。
- ・床荷重：表記数値は単位面積当たりの一般的な数値である。
- ・自然採光：外部に面して配置することが望ましい室を意味する。
- ・換気：換気方法について示す。個別は単独個別換気を示し、中央は空調兼用もしくは複数室と換気装置の共用が可能である。
- ・空調：空調条件について示す。特殊は一般空調以外の空調条件が必要な事を示す。別施は空調機が別途施設利用者工事であることを示す。空調の設定については(k)室内環境の項目の中で示す。

(b)建築関係

各エリア(室・区画)の用途に応じた適切な仕上材を選定すること。各記号は基本的な仕上等の性能を表し、特にその機能が重視されるものを表記している。

- ・床：F 1 (汚れにくく清掃等が容易であること)、F 2 (配線の取出しが自由にできること)、F 3(水拭きが可能であること)、F 4(床を洗うなど水洗いが可能であること)
- ・壁：W 1 (汚れにくく清掃等が容易であること)、W 2 (吸音性能を有すること)
- ・天井：C 1(汚れにくく清掃等が容易であること)、C 2 (吸音性能を有すること)
- ・室の出入口：D 1(片開き W900 ×H2,100)、D 2(親子開き W1,200 ×H2,100)、D 4(シャッター)、D 5(自動扉 W1,800 ×H2,100)、D 6(片開き W1,500 ×H2,500)、D 7(スクリーン 扉付き)
- ・防水：防水の要否を示す。

(c)電源設備

- ・照明用、コンセント用電源は表記の容量を確保するとともに、コンセントは適切な間隔で壁または床に設置すること。

括弧内は、コンセント設置場所を示す。

(d)照明設備

- ・室内照度は、表記数値の範囲内を目安とし、室の用途に応じて照明方法等適切な計画とすること。

(e)電話・情報設備

- ・先行統合情報配線システムとは、電話にも情報にも対応できる先行して配線できるシステムとする。
- ・I 1 : 電力・情報ポイントボックス(スイッチングハブ付)による対応、I 2 : 情報コンセント(電話・LAN)

による対応、I 3 : 情報コンセント(電話)による対応、I 4 : 情報コンセント(LAN)による対応、
I 5 : マルチメディア用による対応、I 6 : インターホン対応(括弧内の室と通話)、
・電話は、内線・外線共とする。
・情報管理室については、大容量のデータを扱うため、光ファイバーの接続端子を設置する。

(f)TV 共同受信設備

・TV 接続端子を設置する。括弧内は、箇所数を示す。

(g)入退室

- ・K 0 : 特に出入口扉を設けず、オープンな入退室が可能なようにする。
- ・K 1 : 出入口は電気錠とし、I D カード(カードリーダー)方式とし、個別管理しているエリアを示す。
- ・K 2 : 一般的な締め金物(建具取付)とし、鍵方式とする。

(h)監視カメラ設備

・M 0 (カメラモニターの設置は既設守衛室とする)、M 1 (カメラの設置)。括弧内は台数を示す。

(i)給排水衛生設備

各記号に示す衛生陶器類及び給排水配管設備を含むものとする。(括弧内は個数を示す)

- ・要S 1(洗面手洗器)、要S 2(吊戸棚付流し台:L=1,500、ステンレス製)、要S 3(水栓柱)、要1次(1次配管のみ、給水:天井内バルブ止め、排水:床下区画内プラグ止め)、要(各器具への配管接続)
- ・ガス設備:要(各器具への配管接続) 要1次(1次配管のみ:天井内プラグ止め)
- ・給湯設備:要不要を示す。但し、局所給湯

(j)特殊設備

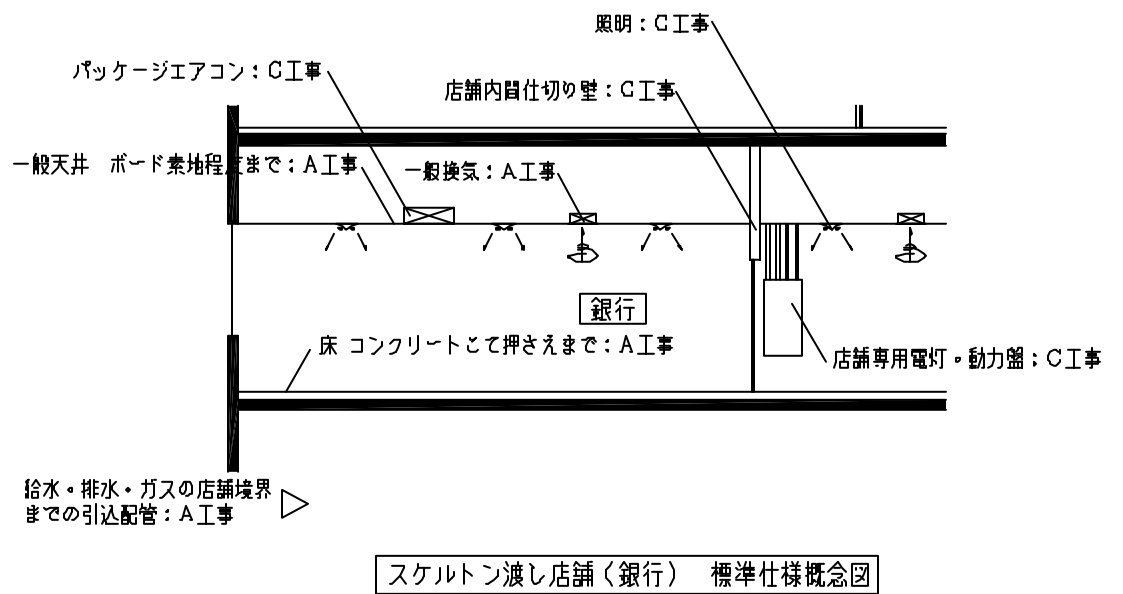
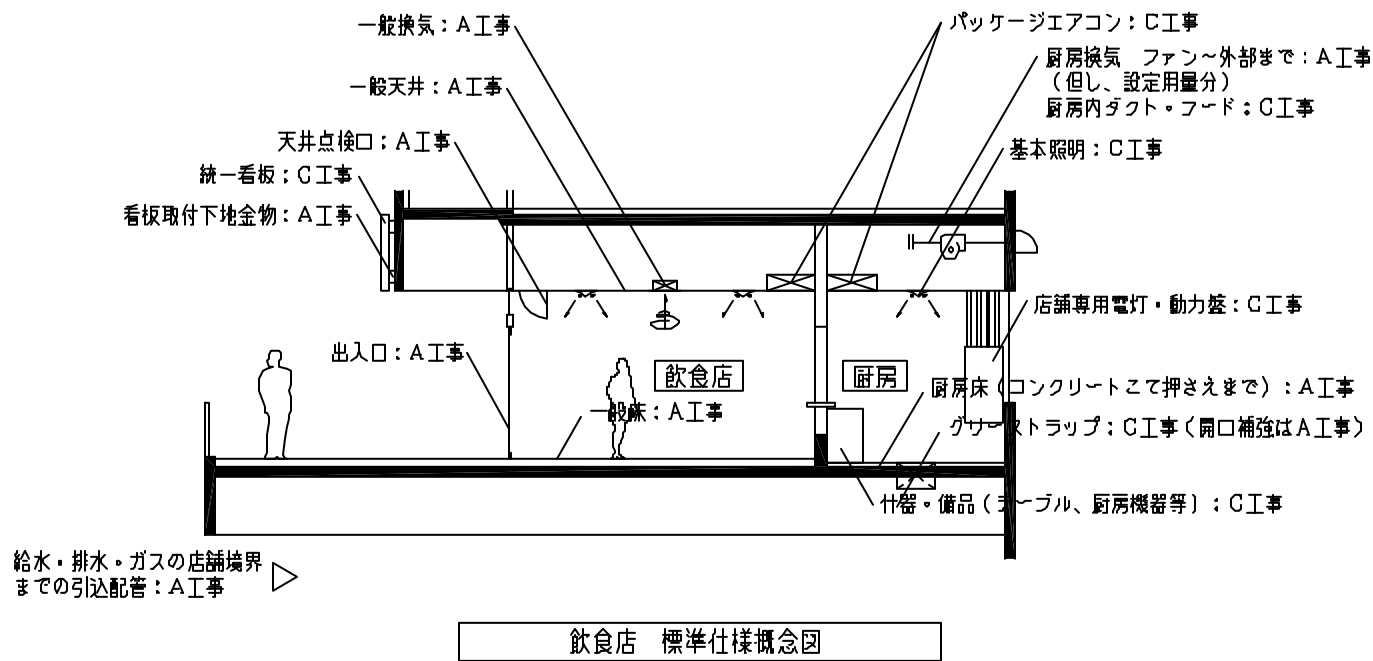
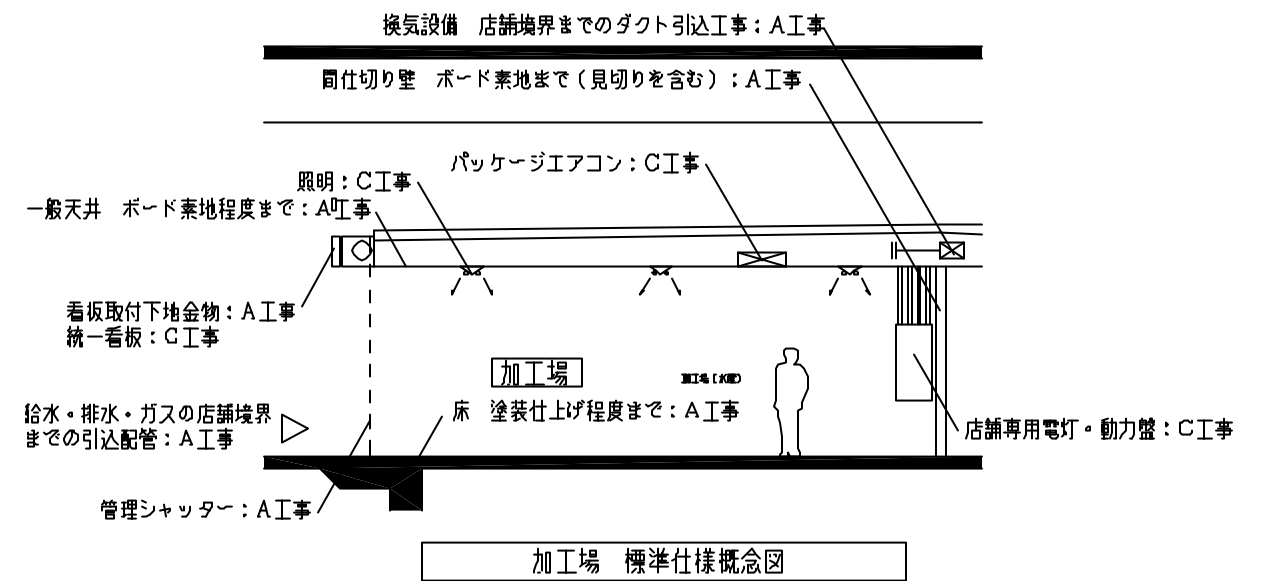
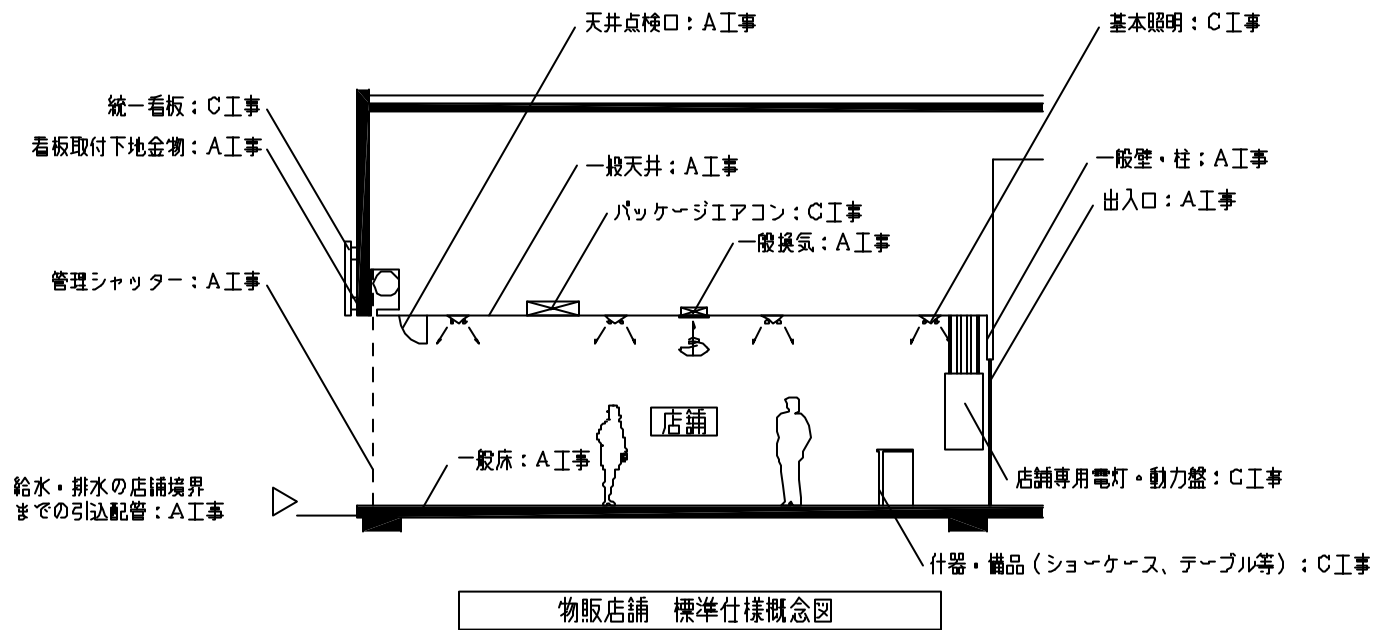
・冷蔵(冷蔵設備) 厨房(厨房器具)

(k)室内環境

- ・E 1 : 一般的な快適温度(夏期:乾球温度26、冬季:乾球温度22)および一般的な快適湿度(夏期:相対湿度60%、冬季:相対湿度40%)
- ・E 2 : 食品の保存環境に適した温度(乾球温度10程度)
- ・E 3 : 24時間空調を行う。
- ・別施: 別途施設利用者工事を示す。

【別添資料7】各エリアの要求水準

エリア(室名)	(a) 一般事項				(b) 建築関係				(c) 電源設備		(d)	(e)	(f)	(g)	(h)	(i)		(k)					
	面積	室数 区画数	天井高 m	床荷重 kg/m ²	自然採光	空調	換気	天井仕上	壁仕上	床仕上	防 水	照明 センサ 用 相	動力 用 相	照明 設備	電話 情報 設備	TV	入退室	監視設備	給排水衛生設備	特殊設備	室内環境		
関連事業所・事務所棟	階	室	区画																				
	中央棟1階	20m ² 程度	52区画	程度																			
	南棟1階	200m ² 程度	2区画																				
	南棟2階	140m ²	2区画		400					F1	D4		60	300	I2	要(1)	K2		要1次	別施	-	別施	
	中央棟2	適宜		3.0以上		個別	個別	個別	個別	個別	個別	95	500	I2	要(1)	K2		要	要	要	要	E1	
	中央棟2	適宜		12.5以上		個別	個別	個別	個別	個別	個別	95	500	I2	要(1)	K2			要S2	-	-	E1	
	中央棟2	適宜		13.0以上		個別	個別	個別	個別	個別	個別	300	500	I2	要(1)	K2			-	-	-	E1	
	中央棟2	30		27.2.5以上	400	個別	個別	個別	個別	F1	D4	70	140	I2	要(1)	K2			要1次	要1次	別施	別施	
	北棟1、2	400		3.0以上	300	個別	個別	個別	個別	個別	個別	80	95	500			K1						別施
	2、3、4、 一部5	80~50		2.5以上	300	要	要	要	要	F1	D2	80	95	500	I2	要(1)	K1			要S2	-	-	E1
中央棟4	500		2.5以上	300	要	要	要	要	F1	D2	80	95	500	I2	要(1)	K1			要S2	-	-	E1	
適宜	適宜		直天		適宜	適宜	適宜	適宜	F2	適宜	適宜	適宜	200	I6	-	K2			-	-	-	-	
適宜	適宜		直天		適宜	適宜	適宜	適宜	F3	適宜	適宜	適宜	200	I6	-	K2			-	-	-	-	
各階	適宜		2.5以上	300	-	-	-	-	F1	適宜	適宜	適宜	-	-	-	K0			-	-	-	-	
各階	適宜		-	300	-	-	-	-	F1	適宜	適宜	適宜	-	-	-	K0			-	-	-	-	
各階	適宜		2.4以上	180	個別	個別	個別	個別	F4	適宜	適宜	適宜	-	-	-	K0			要	-	-	-	
適宜	適宜		直天	一部 550 (車道) 180	個別	個別	個別	個別	F1	適宜	適宜	適宜	-	-	-	K2			要S3	-	-	-	
水産加工場	全体で2600m ² 程度	1区画	間口は6m程度	1200	-	中央	中央	中央	F1	D4	要	95	80	I2	-	K2			要1次	別施	-	別施	
青果・関連加工場	全体で1700m ² 程度	1区画	間口は6m程度	1200	-	中央	中央	中央	F1	D4	要	95	65	I2	-	K2			要1次	別施	-	別施	
農荷保管所	全体で1800m ² 程度	1区画	間口は6m程度	1200	-	中央	中央	中央	F1	D4	要	20	30	I2	-	K2			-	-	-	E2	
保冷庫	113m ² 程度	110倉	2.8以上	550	-	特殊	特殊	特殊	F1	D6	要	90	300	I2	-	K2			-	-	-	E3	



※A・C工事区分及び仕様については内装工事施工区分表を参照すること。
 ※消防設備及び法律上必要なものはA工事範囲とする。
 ※事務所エリアは全てA工事とする。
 ※防犯設備は全て別途工事（市施工）とする。

内装工事施工区分(関連事業所・事務所棟)

費用負担者	工事区分		AI工事		CI工事		内装工事施工対象					
	設計者	施工者	事業者	事業者	関連事業者	事業者	事業者	飲食	食品販売	物販	サービス	事務所
一般天井			一般店舗のAI工事範囲	あり(CI工事で取り付ける棚・家具の下部・補強を含む)	なし	なし	一般店舗のCI工事施工範囲					
厨房天井			あり(CI工事で取り付ける棚・家具の下部・補強を含む)	あり(CI工事で取り付ける棚・家具の下部・補強を含む)	なし	なし						
一般壁・柱			あり(CI工事で取り付ける棚・家具の下部・補強を含む)	あり(CI工事で取り付ける棚・家具の下部・補強を含む)	なし	なし						
店舗間仕切壁			あり(CI工事で取り付ける棚・家具の下部・補強を含む)	あり(CI工事で取り付ける棚・家具の下部・補強を含む)	なし	なし						
厨房区画壁・柱			あり(CI工事で取り付ける棚・家具の下部・補強を含む)	あり(CI工事で取り付ける棚・家具の下部・補強を含む)	なし	なし						
一般床			あり(CI工事で取り付ける棚・家具の下部・補強を含む)	あり(共用部の境界員切りを含む)	なし	なし						
厨房床			あり(CI工事で取り付ける棚・家具の下部・補強を含む)	あり(共用部の境界員切りを含む)	なし	なし						
防水・立上げ・御溝(厨房等)			コンクリートにて押さえまで	立上げ、防水、シンター・コンクリート・御溝、御溝蓋	なし	なし						
出入口戸			開き戸		なし	その他全工事						
カウンター			なし		全工事							
管理シャッター			必要店舗、共用通路等のシャッター設置		なし							
統一看板(個店用看板)			看板のベースプレート取付け		なし							
壁・床・天井の点検口			管理上必要な点検口の設置		なし							
什器・備品(ジョーカー、テーブル等)			なし		全工事							
店舗専用電灯・動力盤			全工事(電力量を含む)		なし							
店舗動力			なし		電気器具設置							
店舗電灯コンセント			なし		なし							
基本照明			なし		全工事							
演出・装飾・特殊照明			なし		分電盤から先の全工事							
電話設備			店舗境界までの配管・配線		端末機設置(申請手続きを含む)							
情報通信配線(パソコン等)			店舗境界までの配管・配線		全工事							
テレビ共同受信			店舗境界までの配管・配線		受信機設置(申請手続きを含む)							
店舗内の業務放送			なし		全工事(カセットレコーダーを含む)							
店舗内の有線放送			なし		全工事(カセットレコーダーを含む)							
消防設備等(電気設備)			全工事		なし							
空調設備			なし		全工事							
店舗一般換気			全工事		なし							
厨房換気			ファン・外部までAI工事(但し、設定容量分)		設定容量を超える設備及びAI工事以外の全工事							
給水			店舗境界までの引込み配管工事		その他全工事							
排水			店舗境界までの引込み配管工事		その他全工事							
クリーストラップ			なし(開口及び開口補強のみ)		クリーストラップ持込・設置							
衛生機器			共用便所を設ける		なし							
ガス			飲食店舗境界までの引込み配管工事		その他全工事							
給湯			なし		その他全工事							
厨房機器			なし		その他全工事							
消防設備等(機械設備)			全工事		厨房器具持込・設置							
法律上必要なもの			全工事		なし							

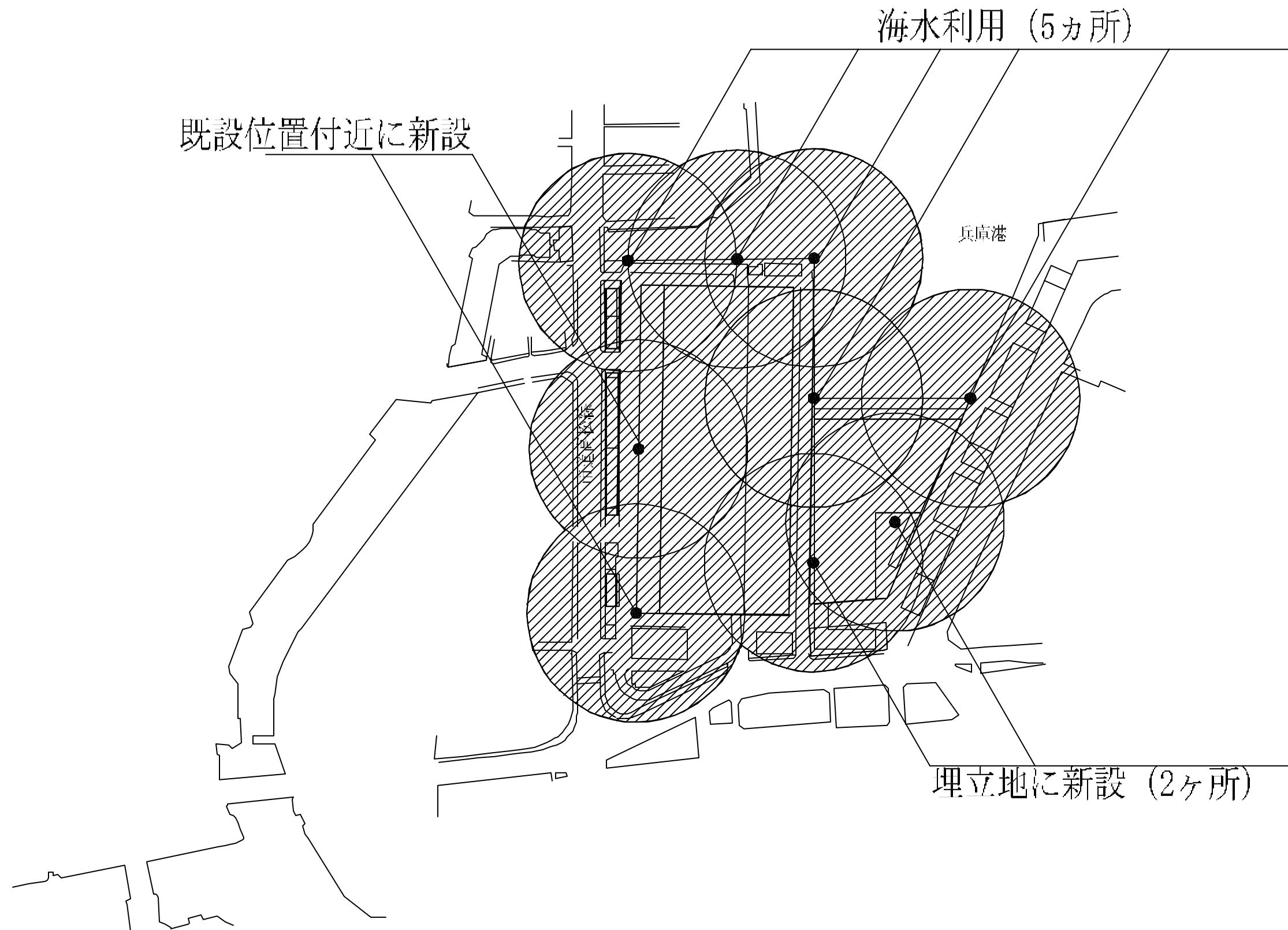
一般店舗・銀行以外の店舗(飲食店舗、食品販売店舗、物販店舗、サービス店舗、事務所)。
 原則としてAI工事以外の特殊な工事は、CI工事とする。
 事業者の事務室等に開く工事は、全てAI工事とする。
 施設利用者部分事務所については全てAI工事とする。
 (1)事業者が認めた場合は、出店者が選定した設計者及び施工者とする事ができる。
 電気設備工事において、店舗境界までの配線については店舗用最速部まで見込んでおくこと
 フードスラップは給湯設備についてはAI工事とする

内装工事施工区分(銀行)

工事区分	AI工事	C工事
費用負担者	事業者	銀行
設計者	事業者	銀行が定めた設計者
施工者	事業者	銀行が定めた施工者
施工項目	銀行のAI工事施工範囲	銀行のC工事施工範囲
建築工事	天井	全工事
	外壁・コア等壁	その他全工事
	間仕切り壁(区画壁)	その他全工事
	銀行内仕切り壁	その他全工事
	床	その他全工事
	点検口	その他全工事
	出入口戸	全工事
	管理シャッター	なし
	統一看板(個店用看板)	看板本体の製作取付け
	その他建築工事	全工事
	電源	分電盤までの配線工事
	電気設備	店舗境界までの引き込み配管 配線工事
	テレビ共同受信	なし
	消防設備等(電気設備)	全工事
	その他の電気設備工事	なし
機械設備工事	給水	店舗境界までの引き込み配管工事
	排水	店舗境界までの引き込み配管工事
	ガス	店舗境界までの引き込み配管工事
	換気設備	全工事
	消防設備等(機械設備)	全工事
	その他の機械設備工事	なし
	法律上必要なもの	全工事

内装工事施工区分(埋立地棟 加工場)

工事区分	AI工事	C工事	内装工事施工対象
費用負担者	事業者	仲卸業者	C工事 C工事対象(A・C工事)
設計者	事業者	仲卸業者が定めた設計者	
施工者	事業者	仲卸業者が定めた施工者	加工場 倉庫
施工項目	加工場のAI工事施工範囲	加工場のC工事施工範囲	
建築工事	天井	加工場のAI工事施工範囲	加工場のC工事
	外壁・コア等壁	ポード築地程度まで	その他全工事
	店舗間仕切り壁	ポード築地程度まで	その他全工事
	店舗内仕切り壁	ポード築地程度まで(見切りを含む)	その他全工事
	床	なし	全工事
	点検口	塗装等まで	その他全工事
	出入口戸	床・壁・天井について管理上必要な点検口の設置	その他全工事
	管理シャッター	なし	全工事
	統一看板(個店用看板)	加工場、共用通路等のシャッター設置	なし
	その他建築工事	看板のベースプレート取付け	看板本体の製作取付け
	電源	なし	全工事
	電気設備	分電盤までの配線工事	分電盤から先の全工事
	テレビ共同受信	店舗境界までの引き込み配管 配線工事	その他全工事
	消防設備等(電気設備)	店舗境界までの引き込み配管 配線工事	その他全工事
	その他の電気設備工事	全工事	なし
機械設備工事	給水	店舗境界までの引き込み配管工事	
	排水	店舗境界までの引き込み配管工事	
	ガス	店舗境界までの引き込み配管工事	
	換気設備	店舗境界までの引き込み配管工事	
	消防設備等(機械設備)	店舗境界までの引き込み配管工事	
	その他の機械設備工事	なし	なし
	法律上必要なもの	全工事	なし



【別添資料 10】 実施設計完了時の提出図書類

建築（建築・構造）		電気設備（電気・昇降機）		機械設備（給排水・衛生・空調）	
設計書類					
1	省エネルギー計算書（PAL・CECの算定）				
2	防災計画協議書	2	照度計算書	2	給水量等の計算書
3	構造計算書	3	電圧降下計算書（幹線・動力・電灯・その他回路）	3	換気計算書
4	内訳書及び工事工程表	4	負荷設備容量集計表	4	熱負荷計算書
5	見積書及び見積比較表	5	自家発電設備関係計算書	5	環境負荷低減システムの検討書
6	積算数量書及び数量算出書	6	直流電源設備容量決定計算書	6	システム決定のためのライフライン比較
7	官公庁協議・打合せ記録書	7	遮断容量、I線地絡電流計算書	7	その他の機械設備設計計算書
8	外観パース（市の指示による）	8	その他電気設備設計計算書	8	内訳書及び工事工程表
9	内観パース（市の指示による）	9	内訳書及び工事工程表	9	見積書及び見積比較表
10		10	見積書及び見積比較表	10	積算数量書及び数量算出書
11		11	積算数量書及び数量算出書	11	官公庁協議・打合せ記録書
12		12	官公庁協議・打合せ記録書	12	
13		13		13	
図面関係					
1	図面リスト	1	図面リスト	1	図面リスト
2	工事概要書	2	工事概要・特記仕様書	2	工事概要・特記仕様書
3	特記仕様書	3	配置図	3	配置図・会所リスト
4	外部仕上表	4	受変電設備単線結線図	4	衛生設備機器表・衛生機器表
5	内部仕上表	5	受変電設備ブロック図	5	衛生機器表
6	付近見取図	6	電気室機器配置図	6	衛生設備系統図
7	現況図	7	発電機設備配置図	7	衛生設備各階平面図
8	配置図	8	発電機設備 配管、ルート、仕様書	8	衛生設備平面詳細図
9	敷地求積図	9	直流電源装置・結線図・仕様他	9	消火設備系統図
10	建物求積図	10	幹線設備系統図	10	消火設備各階平面図
11	各階平面図	11	幹線リスト・配線リスト	11	空調設備機器表
12	各立面図	12	防災センター関連配置図	12	空調設備ダクト系統図
13	断面図	13	中央監視設備図	13	空調設備制気口リスト
14	矩計図	14	動力代表結線図	14	空調設備各階ダクト平面図
15	平面詳細図	15	動力制御盤リスト	15	空調設備機械室詳細図
16	展開図	16	電灯分殿盤リスト	16	空調設備熱源・配管系統図
17	天井伏図	17	幹線・動力設備各階平面図	17	空調設備各階配管平面図
18	床仕上伏図	18	コンセント・電灯設備各階平面図	18	換気設備平面図
19	建具配置図	19	非常照明・誘導灯設備各階平面図	19	自動制御設備図
20	建具リスト	20	照明器具姿図	20	排煙設備系統図
21	建具詳細図	21	照明他器具天井割付図	21	排煙設備各階平面図
22	各部詳細図	22	弱電設備系統図	22	その他必要図面
23	EV・エスカレーター図	23	弱電設備各階平面図	23	
24	サイン計画図・意匠図	24	弱電設備姿図	24	
25	家具詳細図	25	防災設備系統図・システム図	25	
26	雨水排水計画図	26	防災設備各階平面図	26	
27	外構図	27	避雷針設備関連図	27	
28	外構詳細図	28	駐車場管制設備関連図	28	
29	植栽計画図	29	屋外街灯他関連図	29	
30	構造特記仕様書	30	昇降機設備図	30	
31	基準図	31	その他必要図面	31	
32	土質柱状図	32		32	
33	各階伏図				

34	軸組図			
35	杭リスト			
36	基礎リスト			
37	梁リスト			
38	小梁リスト			
39	壁リスト			
40	スラブリスト			
41	継手リスト			
42	各部詳細図			
43	仮設計画図			
44	その他必要図面			

【別添資料 10】 工事着手時の提出図書類

図面及び図書名	サイズ	部数	備考
実施工程表及び総合施工計画書	A1, A3	3部	仮設、関連工事も含み、受電、引込み検査等を記入する。
総合計画予定表（発注、工場製作、搬入、施工図）	A4	3部	
総合図、施工図作成工程表	A3	3部	施行図は建築、電気、機械毎に分類のこと
請負契約書	A4	3部	写し（現場）
同上内訳明細書	A4	3部	写し（現場）
総合出来高予定表（請求額とその時期）	A4	3部	建築、電気、機械毎に分類のこと
着工前現況写真		1部	
設計図書	A1	5部	建築、電気、機械毎に分類のこと
同上原図	A1	1部	建築、電気、機械毎に分類のこと
設計図書の縮小版	A3	5部	建築、電気、機械毎に分類のこと
同上原図	A3	1部	建築、電気、機械毎に分類のこと
官公庁申請届一覧表	A4	2部	1部は写し
工事施工計画及び下請人等通知書	A4	2部	
現場代理人・主任技術者略歴書	A4	2部	
産業廃棄物処理計画書	A4	2部	
使用機器及び使用材料承認願	A4	2部	
確認申請通知及び許可書	A4	1部	
解体工事に要する費用等に関する書面	A4	2部	
工事カルテ	A4	1部	

【別添資料 10】 建設期間中の提出図書類

図面及び図書名	サイズ	部数	備考
工事日報	A3	2部	
月間又は週間工程表	A3	2部	
施工計画・同要領書	A3	2部	建築、電気、機械毎に分類のこと
施工図	A1	1部	
機器制作図	A1 他	1部	
試験検査記録簿	A4	2部	建築、電気、機械毎に分類のこと
打合せ記録簿	A4	1部	
工事出来高調書	A4	2部	建築、電気、機械毎に分類のこと
設計変更等図面及び変更承認願	A1, A4	2部	建築、電気、機械毎に分類のこと
使用機器及び使用材料承認願	A4	2部	
損害保険写し(火災・建築)		2部	

【別添資料 10】 竣工に伴う提出図書類

提出書類等	サイズ及び形状	部数
竣工図	二つ折り製本 (A2)	2
	同上金文字製本 (A2)	1
	同上第 2 原図	1
	二つ折り製本 (A3 縮小)	2
	同上第 2 原図	1
	CAD データ	1
施工図	二つ折り製本 (A2)	1
	二つ折り製本 (A3 縮小)	1
工事中写真	写真	1
	デジタルデータ	1
竣工写真 (建築写真専門家による)	アルバム (A4)	2
	台紙貼り (A4)	1
	カラースライド	1
	CD-ROM データ	1
竣工引渡書類一覧	A4	2
取扱説明書	A4	1
工事中の試験記録、性能表		1
協力業者リスト		2
使用材料並びに品番		2
官公庁提出書類及び許可・完了・検査済証等		1
完成届	A4	2
請求書	A4	2
公有財産受渡書	A4	2
引渡書	A4	2

【別添資料 11】 P R 施設設計・建設要求水準

	予定面積	要求内容	備品等
市場 P R 施設全体	適宜、提案による	自然で新鮮な食材を扱う市場のイメージをより高め、市場からの情報発信の中核的施設にふさわしい機能、意匠を実現すること。	
フードスタジオ	適宜、提案による	料理教室だけでなくギャラリーや他の催事スペースとしても利用可能な空間とすること。その場合はオープンスペースを含めて 80 人程度の収容を想定する。 料理教室としては一回 30 人程度までの利用を想定する。調理後はくつろいで食事のできる快適な空間であること。車椅子での利用も考慮すること 採光、通風に配慮した清潔で開放的な空間であること。 類似施設と比べ機能面、意匠面で競争力のあるものとする	厨房機器、固定棚等はサービス購入費の対象とする(イス、什器等についてはテナント(事業者)工事とする)。
事務室	適宜提案による	受付などを含む事務作業及び講師控を設けること。 資料庫を設けること(フードスタジオの一角でもよい)。	
オープンスペース	適宜提案による	屋内/屋外的な使用が可能な構造のオープンスペースを設けること。 フードスタジオとの一体的な使用が可能であること。	机、イス、什器・備品等については施設利用者(事業者)工事とし適宜提案。
その他	適宜、提案による	倉庫、便所、機械室等を適宜設けること。	

【別添資料 12】発泡スチロール減容設備要求水準

1. 要求仕様

ア. 破碎機器概要

項目	内容
処理能力	300 kg / h
台数	1 台
動力	12.5 kW

イ. 溶融機（攪拌摩擦熱方式）

項目	内容
処理能力	100 kg/h
台数	2 台
インゴット寸法	200 リットル / h
冷却水使用量	28.675 kW
動力	12.5 kW

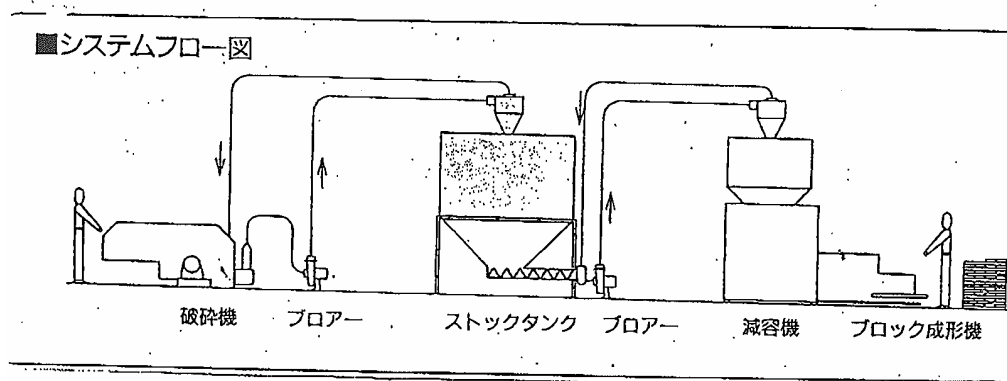
ウ. 補機

- a. 溶融機脱臭機
- b. 発泡スチロールストックタンク
- c. 冷却水チラー設備一式

エ. 参考品番

既設設備の品番を参考として次に示す。
 （株式会社 名濃 FM - 100NB）

オ. システムフロー図（参考図）



【別添資料 13】ダンボール圧縮機概要

現況の作業工程は次の通り（参考）

1. ホッパ内に投入されたダンボールが一定量に達すると光電管検出により、シリンダ前進指令が
だされ、メインシリンダが前進し、定盤により圧縮成型し、自動端ストロークにて停止後、
後進し、後進端にて停止する。
2. 圧縮成型の際、余剰のダンボールは、本体フレームとメインシリンダ定盤上部に設置した刃物
により、切断排除する。
3. 上記動作を数回繰り返す行い、圧縮成型されたダンボールがあらかじめ設定された希望長さに
達すると、定寸カウンタ装置により結束指令をだし、自動的にメインシリンダが前進端にて停
止。
4. その後、結束を行い、ワイヤを切断する。
5. メインシリンダが後進し、後進端にて停止する。
6. 以上により 1 個の製品が完成する。

項	目	内	容	備	考
油 圧 梱 包 プ レ ス 機	処理能力	0.5～1.0トン/h			
	台数	1台			
	1日あたりの処理量	約4000kg			
	1日の作業時間	6時間			
	1枚の製品寸法	700×700×1700(mm)			
	1枚の重量	約350kg			
	1日の製品枚数	約12～13個			
	冷却水使用量	26ℓ/min			
	圧縮力	42.2トン			
	1台あたりの動力	15.0kW/h			
結 束 機	結束方式	自動結束 3.2なまし鉄線横3本掛			
	動力	0.75kW/h			
形	式	LB-150-S			
製	造	業	者	渡辺鉄鋼(株)	
経	費	電気、メンテ費用等は開設者負担			

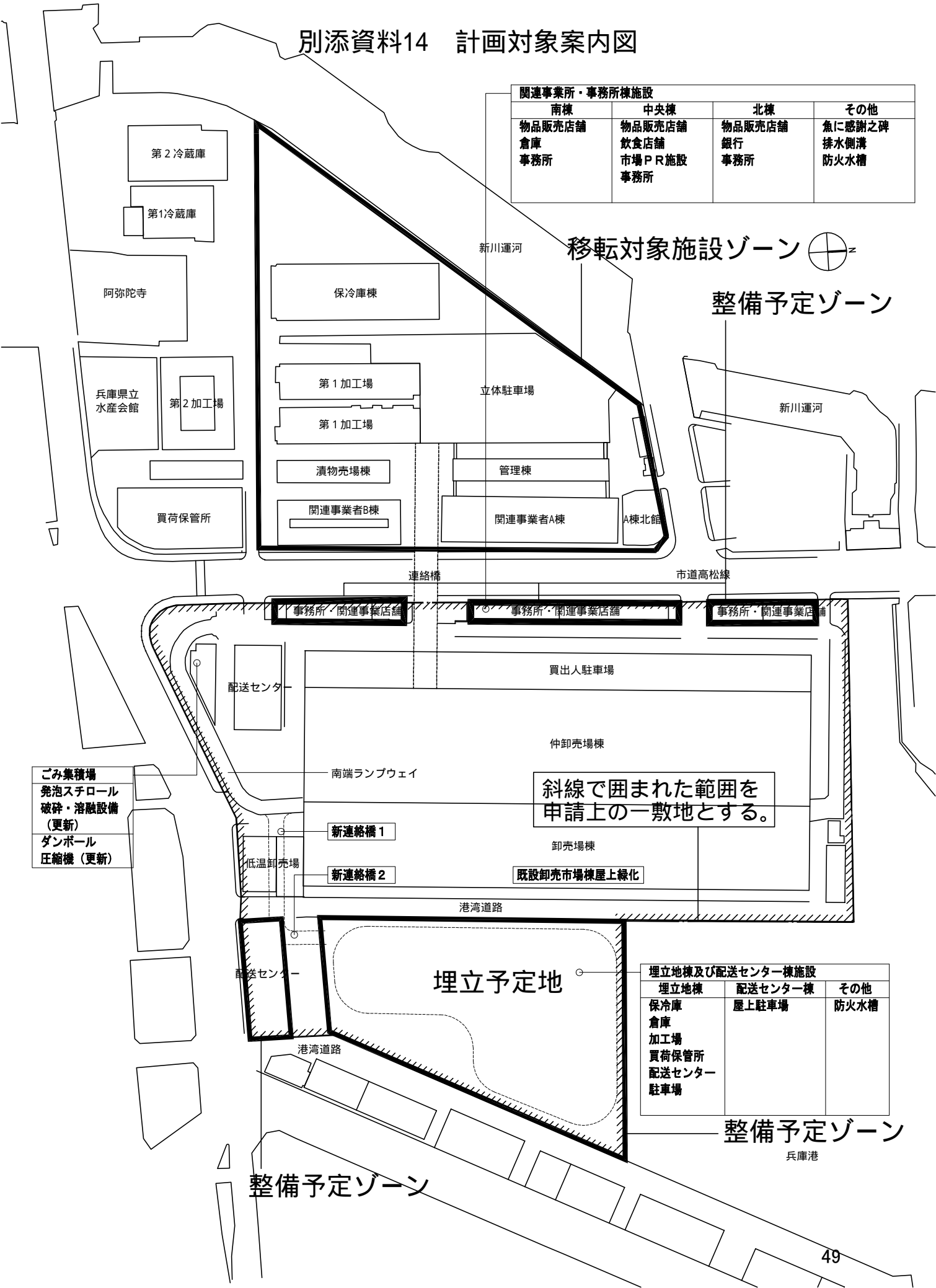
製品は毎日場外業者が、引き取りにくる。

別添資料14 計画対象案内図

関連事業所・事務所棟施設			
南棟	中央棟	北棟	その他
物品販売店舗 倉庫 事務所	物品販売店舗 飲食店舗 市場PR施設 事務所	物品販売店舗 銀行 事務所	魚に感謝之碑 排水側溝 防火水槽

移転対象施設ゾーン

整備予定ゾーン



斜線で囲まれた範囲を申請上の一敷地とする。

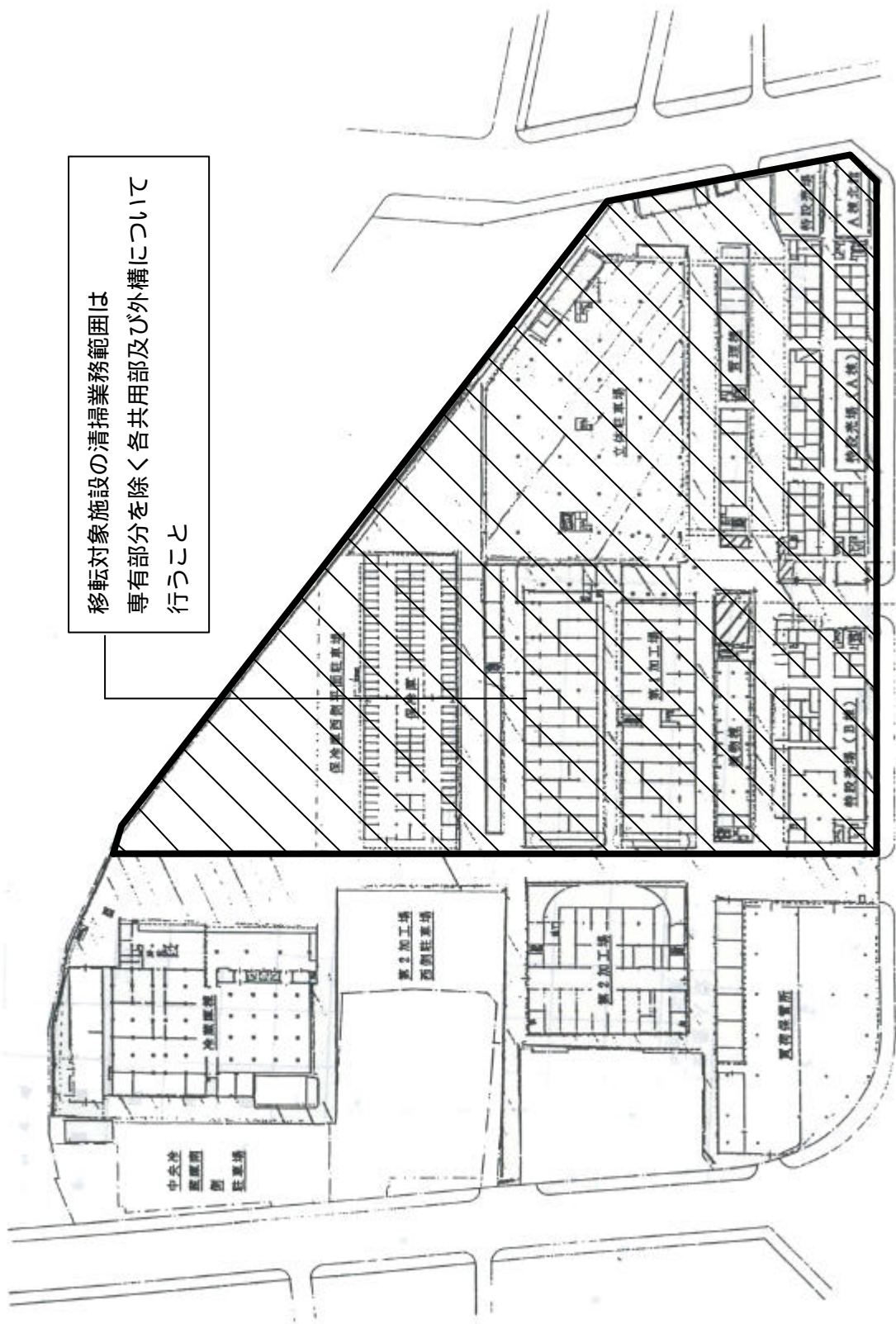
ごみ集積場
発泡スチロール
破砕・溶融設備
(更新)
ダンボール
圧縮機 (更新)

埋立地棟及び配送センター棟施設		
埋立地棟	配送センター棟	その他
保冷库 倉庫 加工場 買荷保管所 配送センター 駐車場	屋上駐車場	防火水槽

整備予定ゾーン

兵庫港

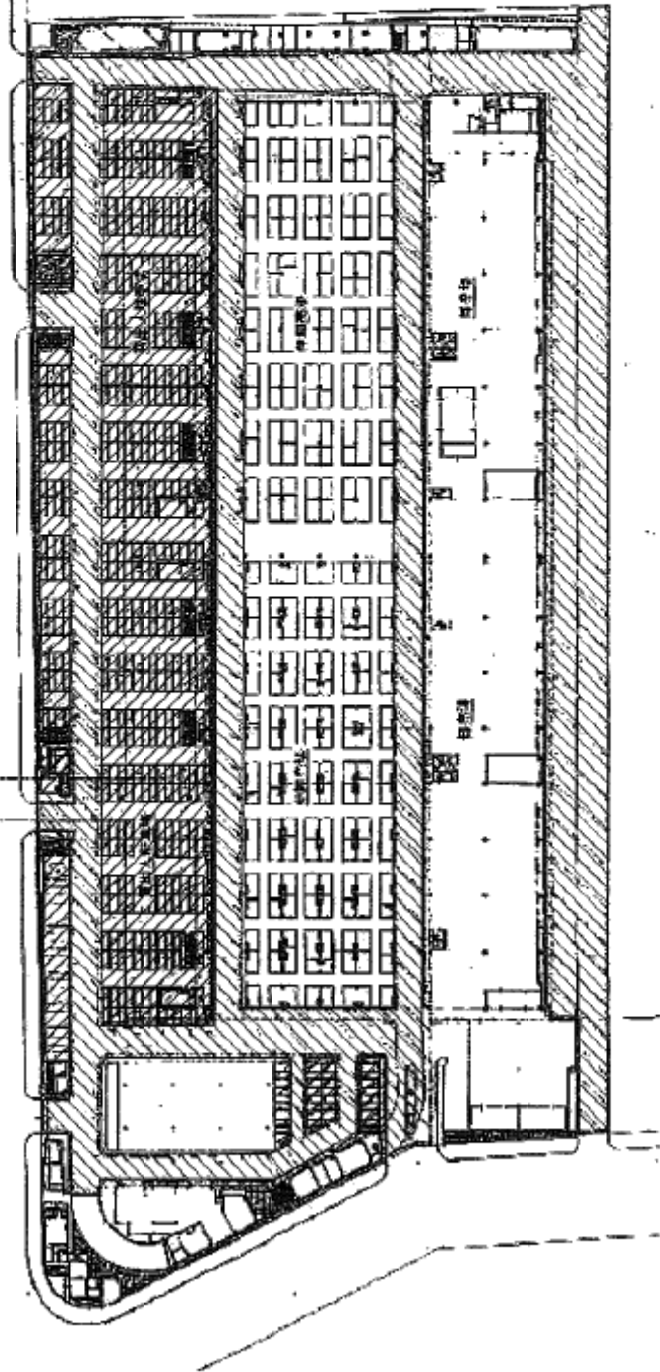
整備予定ゾーン



移転対象施設の清掃業務範囲は
 専有部分を除く各共用部及び外構について
 行うこと

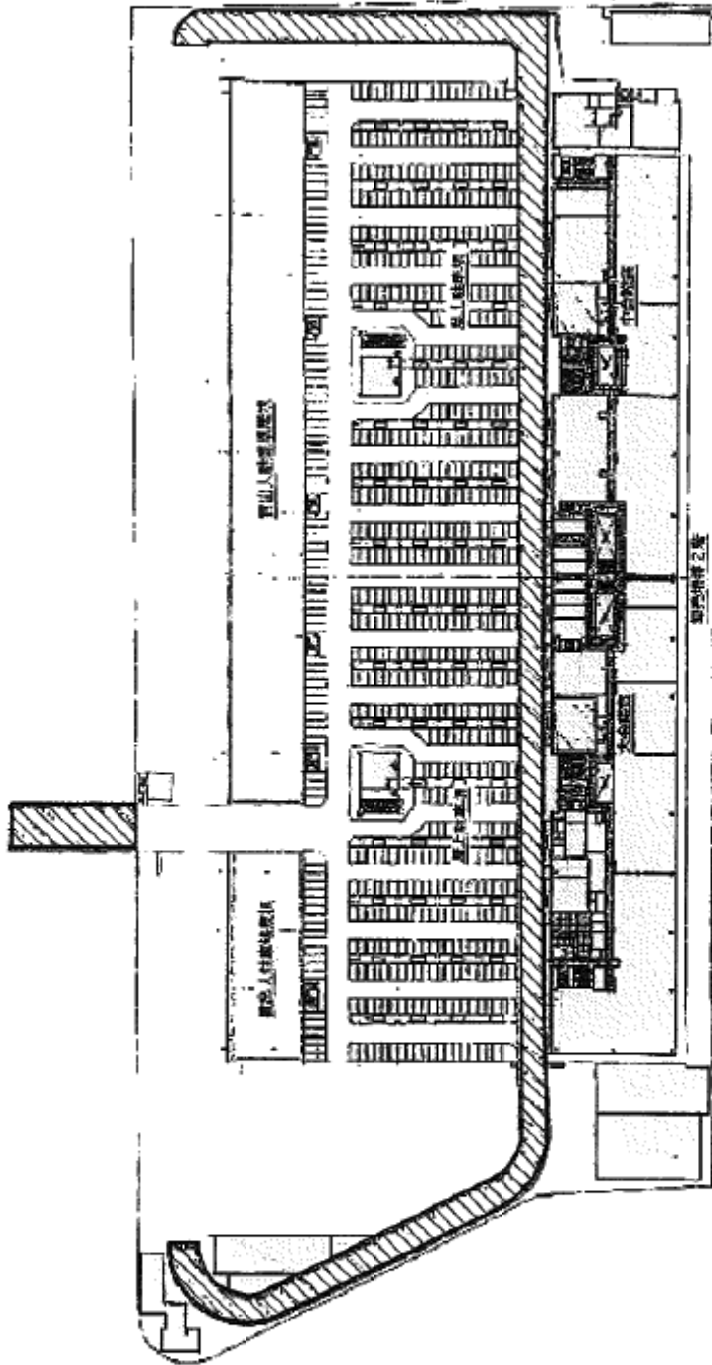
【別添資料 15】移転対象施設（西側既存施設）清掃業務範囲図

A	通路等共用部分
B	買出入駐車場



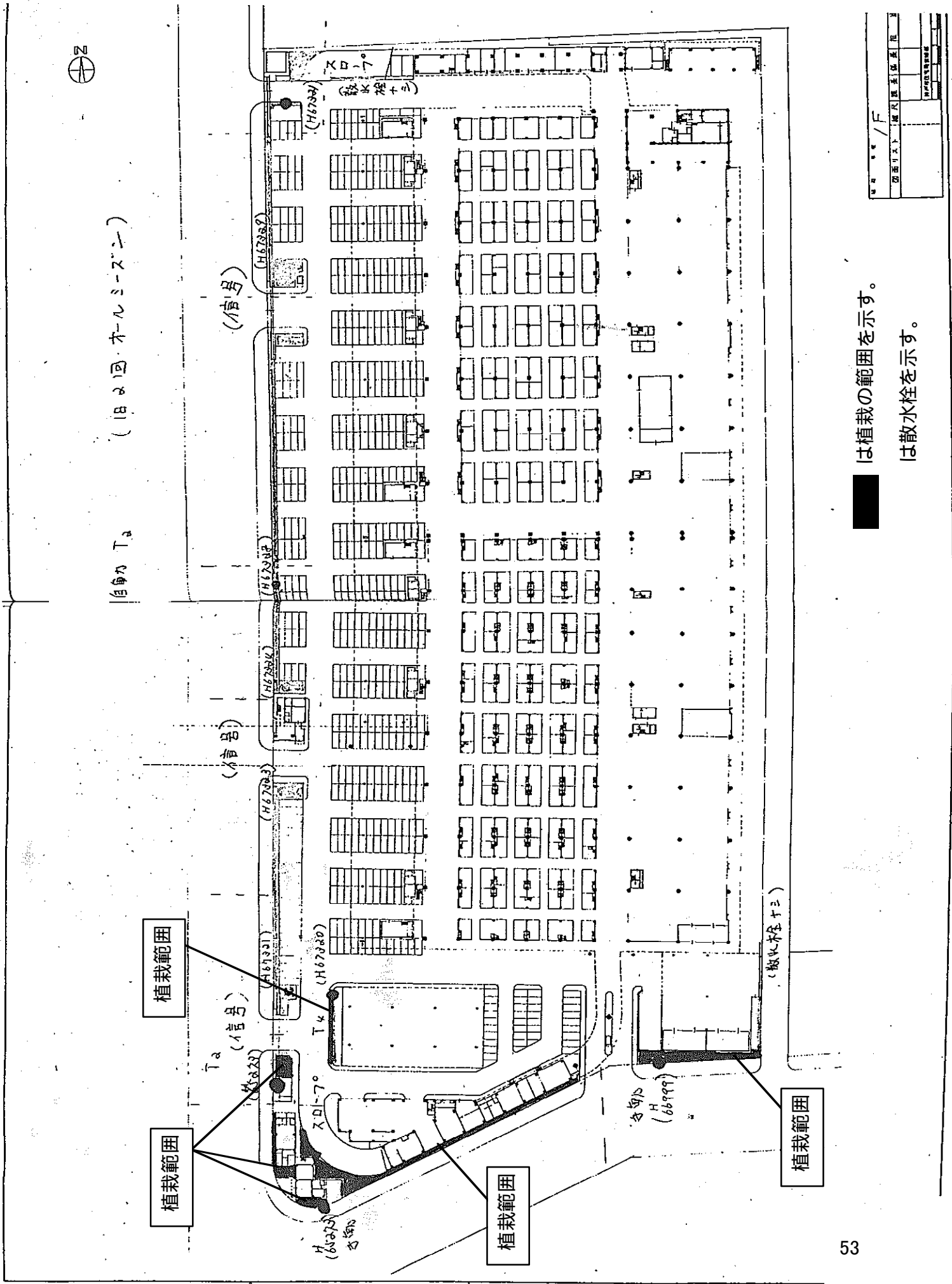
【別添資料 15】東側既存施設清掃業務範囲図 1 階

A 通路等共用部分



【別添資料 15】東側既存施設清掃業務範圍圖 2 階

【別添資料 16】東側既存施設植栽維持管理業務範囲図



は植栽の範囲を示す。
 は散水栓を示す。